取扱説明書

保証書付

ラジオ付デジタルボイスレコーダー

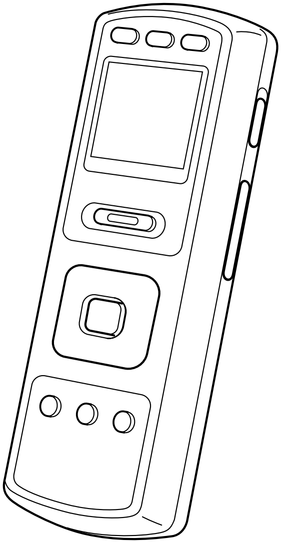
品番 ICR-RB78M

DIPLY TALK

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。
- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意 (警告を含む) をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為 (禁止事項)」を示します。

本体について

⚠ 警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。
また、ラジオが正常に受信できない場合があります。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

注意

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

⚠ 注意

■ 電池は正しく入れる

注意

電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは電池を取り出しておいてください。
電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

■本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. 録音前には必ず試し録音をしてください。

2. 録音データを他の機器にバックアップしてください。

☞ 70、79 ページ参照

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Window Ⓡ ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、Ⓡマークは明記していません。

■時計表示について

本機の時計表示は、長い期間使用していると誤差が生じる場合があります。定期的にカレンダ設定をされることをおすすめします。
また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。

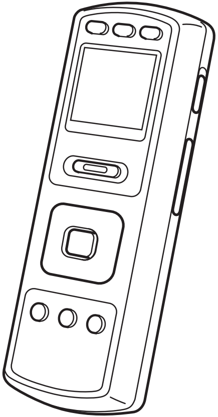
☞ 14ページ参照

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

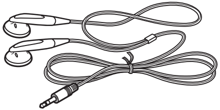
付属品を確認する

箱から出して揃っているかお確かめください。

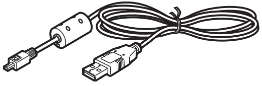
●ラジオ付デジタルボイス
レコーダー本体………………………………… 1



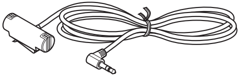
●インナーイヤー型
ステレオヘッドホン ……………………………… 1



●専用 USB 接続ケーブル ……………………………… 1



●タイピン型ステレオ外部マイク…………………… 1



●単4アルカリ乾電池 …… 2　●かんたん操作ガイド… 1

●本書（保証書付）……… 1

メモ

●付属の電池はモニタ用ですので寿命が短いことがあります。
●本機ではリモコン付きなどの４極プラグ端子ステレオヘッドホンは使えません。

主な特長

① FM/AMデジタルチューナー内蔵　☞36ページ参照

●FM/AMラジオの内容を録音し、保存しておくことができます。

② ラジオ番組のタイマー予約録音が可能　☞56ページ参照

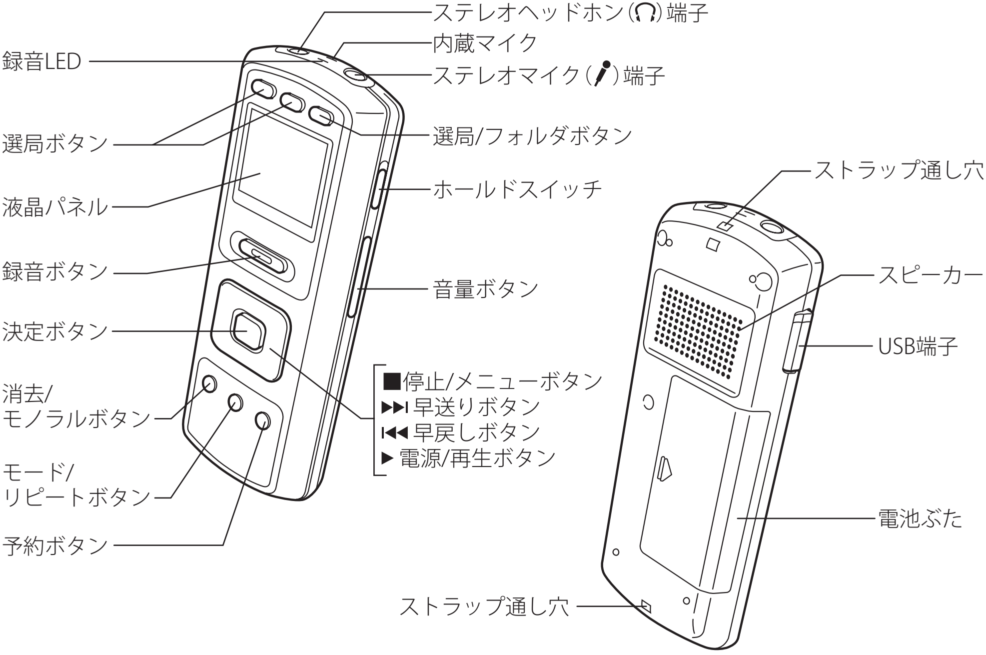
③ 高音質MP3形式で長時間録音（SPモードの場合）を実現　☞24ページ参照

●最大で約71時間の録音が可能です。

④ MP3/WMA音楽ファイル再生　☞33ページ参照

⑤ 集音器としても使用できるマイクモニター機能搭載　☞62ページ参照

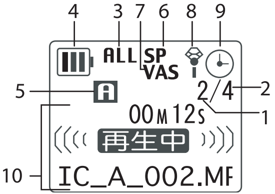
各部のなまえ



ステレオヘッドホン( )端子
内蔵マイク
録音LED
ステレオマイク( )端子
選局ボタン
選局/フォルダボタン
ストラップ通し穴
ホールドスイッチ
液晶パネル
録音ボタン
スピーカー
音量ボタン
決定ボタン
USB端子
■停止/メニューボタン
▶▶I 早送りボタン
I◀◀ 早戻しボタン
▶ 電源/再生ボタン
消去/
モノラルボタン
モード/
リピートボタン
電池ぶた
予約ボタン
ストラップ通し穴

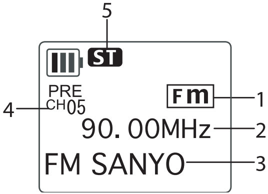
液晶パネル

■音声モード、音楽モード



1　ファイル番号
2　ファイル総数
3　リピート（ALL、ONE）
4　電池残量
5　フォルダ名（A ～ D、R、M）
6　録音モード（XHQ、HQ、SP、LP）
7　VAS（音声起動録音）
8　マイク感度（高、低）
9　タイマー予約録音
10　各種情報表示（録音残時間、録音経過時間、ファイル名、再生総時間、再生経過時間、動作、現時刻など）

■ラジオモード



1　FM/AM
2　周波数
3　放送局名
4　プリセット番号
5　ステレオ（ST）/モノラル（MO）

メモ

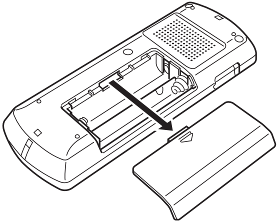
- 本書の画面表示の字体等は実際の表示とは異なっています。

準備

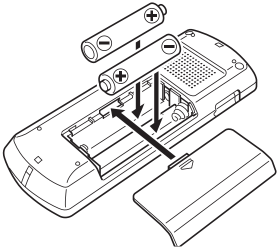
電池を入れる

電源を入れた状態で電池の交換をしないでください。 故障やファイルが壊れるおそれがあります。

1 電池ぶたをあける



2 電池を入れて電池ぶたを閉める



● ⊕、⊖の向きを間違えないでください。

■電池残量表示



電池残量表示が ▭ を点灯したら

● 新しい単4アルカリ乾電池に交換してください。

● 電池が切れると"Low Battery"と表示後、液晶パネル表示が消灯し、自動的に電源が切れます。



• 実際は電池残量がほとんどない状態でも、一度電源を切った後に再び電源を入れると、▮▮▮ と電池残量表示されることがあります。この時、録音や予約録音をすると、電池残量不足のため途中で録音が終了され、録音できないことがありますのでご注意ください。

メモ

使用可能な電池について

- ボイスレコーダー本体の電源は単 4 アルカリ乾電池を推奨いたします。当社のエネループ（eneloop）など充電式のニッケル水素電池での使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ乾電池に比べて短くなります。（目安として約70%程度です。）なお、オキシライド電池の使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

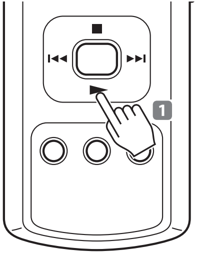
電池持続時間について（アルカリ乾電池、LED オフ時）

- 連続録音時間［SP 時］……………… 約 13 時間
  ※録音 LED：オフ時
- 連続再生時間［スピーカー再生時］… 約 11 時間
- 連続再生時間［ヘッドホン再生時］… 約 19 時間
- ラジオ連続受信時間［FM 受信時］… 約 24 時間
  ［AM 受信時］… 約 30 時間

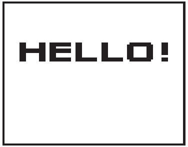
※マンガン、ニカド電池は使用可能時間が著しく短くなったり録音途中に電池切れとなる場合がありますのでおすすめできません。

- 周囲の温度や使用状況などにより電池残量の表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。
- 温度が 5℃～ 35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった電池は各地方自治体の指示（条例）に従って処分してください。

電源を入れる / 切る



1 [▶ 電源/再生]を2秒以上押す

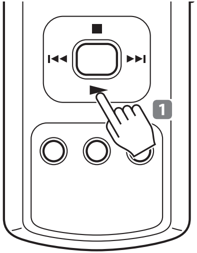


⇨「HELLO!」と表示され電源が入り、前回電源を切る前に選ばれた動作モードが表示されます。(レジューム機能)
再生モードでは、前回停止した位置から再生することができます。(再生レジューム機能)

メモ
- モードを切り替えるまたは、フォルダを切り替えると再生レジューム機能は、解除されます。

■購入後初めて電源を入れた場合

●カレンダを設定してください。☞ 14 ページ



■電源を切る場合

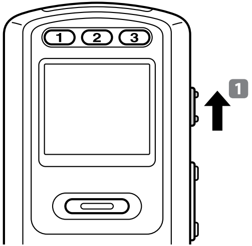
1 [▶ 電源/再生]を2秒以上押す



⇨"SEE YOU!"と表示された後、電源が切れます。

録音中に長押ししても電源は切れません。

メモ
- 電源が入った状態で約 15 分間放置すると、自動的に電源が切れます。(ラジオ受信時を除く)また、録音一時停止中に約 15 分間放置すると、録音中のファイルを保存した後、電源が切れます。(オートパワーオフを「ON」に設定時) ☞ 69 ページ



メモ
- オートパワーオフ機能は、工場出荷時は「ON」に設定されています。
- 本機が何も操作しない停止状態であっても電源が入っていると電池を消耗しますのでご注意ください。電源の切り忘れを防ぐには、オートパワーオフ機能を「ON」に設定しておくことをおすすめします。

■誤動作を防止する(ホールド)

1 [ホールド]スイッチを ➡ 方向にスライドさせる

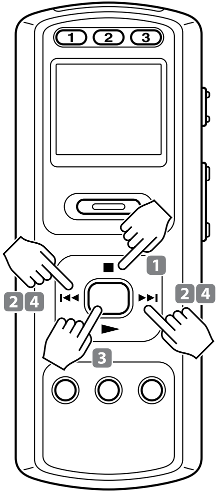
⇨各ボタンが機能しなくなります。

●スイッチを戻すと"ホールド解除"と表示し、解除されます。



メモ
- 本機をカバンやポケットに入れているときなどは、誤動作防止のためにホールド設定することをおすすめします。

カレンダ（日時）を設定する



1 停止中、［停止/メニュー］を2秒以上押す

⇨「メニュー選択画面」が表示されます。



2 ［I◀◀］、［▶▶I］で「カレンダ設定」を選ぶ

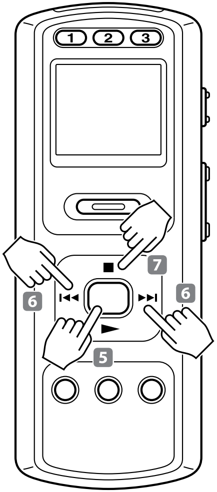


3 ［決定］を押す

⇨「カレンダ設定」画面が表示され、西暦表示が点滅します。



4 ［I◀◀］、［▶▶I］で西暦を選ぶ



5 [決定]を押す

⇨西暦が確定し、月表示が点滅します。

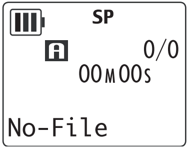


6 同様に月、日、時、分を選んで設定する

⇨分設定が終わるとカレンダが設定され、「メニュー選択画面」に戻ります。

7 [停止/メニュー]を押す

⇨元の停止中状態に戻ります。



- **電池を抜くとカレンダ設定が保持されません。設定をやり直してください。**
- 長い期間使用していると、時刻表示がずれることがあります。その場合は、再設定してください。

付属のマイクやヘッドホンを使用する

■タイピン型ステレオ外部マイク（付属）を使用する

ステレオマイク（🎤）端子に差し込んでください。外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。

● 外部マイクの抜き差しは停止状態でおこなってください。
● 付属品以外の外部マイクを使用される場合は下記仕様を推奨します。
- 形式 ： エレクトレットコンデンサー
  ※プラグインパワー方式
- インピーダンス ： 2kΩ
- 電源 ： 1.3Vにて動作保証品
- プラグ ： ミニプラグ（3.5φ）

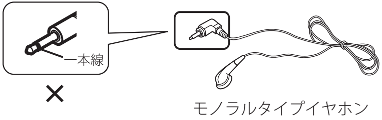
※ プラグインパワー方式は、ボイスレコーダー本体から電源を供給する方式です。

■ステレオヘッドホン（付属）を使用する

ステレオヘッドホン（🎧）端子に差し込んでください。ステレオヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません（ラジオ受信時の出力切換で「スピーカー」選択時を除く ☞67ページ）。

ステレオヘッドホンの抜き差しは停止状態でおこなってください

モノラルタイプのヘッドホン（イヤホン）はご使用にならないでください。
モノラルタイプのイヤホンをご使用になると、極端に電池寿命が短くなったり、電源が切れることがありますので、付属のステレオヘッドホンをご使用下さい。



モード切換とフォルダ切換

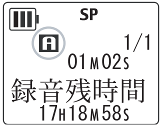
■モード切換

本機では3つのモードがあり、目的に応じてモードを選んで使用します。

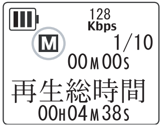
● 音声モード…音声の録音や再生、また録音したラジオ放送を再生する
● 音楽モード…音楽の再生をする
● ラジオモード…ラジオ放送（FM/AM）の受信や録音をする

各モードの表示例

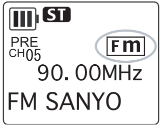
音声モード
・フォルダ（A ～ D、R）が表示されます



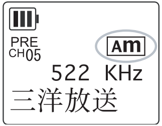
音楽モード
・「M」が表示されます



ラジオモード（FM）
・「FM」が表示されます



ラジオモード（AM）
・「AM」が表示されます



■モード切換をする

[モード/リピート]を押す

⇨押すごとに、音楽モード→FM（ラジオモード）→AM（ラジオモード）→音声モード→音楽モード…と切り換わります。

■フォルダ切換

音声モード内にA ～ D、Rフォルダがあります。

● Aフォルダ ： ⎫
● Bフォルダ ： ⎬ 音声録音用フォルダ
● Cフォルダ ： ⎪
● Dフォルダ ： ⎭
● Rフォルダ ： ラジオ録音用フォルダ

■フォルダ切換をする

1 [モード/リピート]を押して音声モードにする

2 [選局/フォルダ]を押してフォルダを選ぶ

つづく

モード切換とフォルダ切換（つづき）

■メニュー項目の「フォルダ選択」からでも選択できます。

1 [停止/メニュー]を2秒以上押す

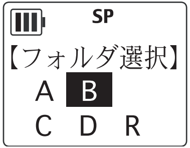
⇨「メニュー選択画面」が表示されます。



2 「フォルダ選択」が選ばれていることを確認して[決定]を押す

⇨「フォルダ選択」画面が表示されます。

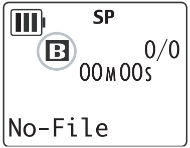
3 [⏮]、[⏭]を押してフォルダを選ぶ



4 [決定]を押す

5 [停止/メニュー]を押す

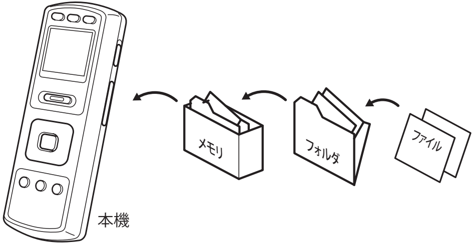
⇨選択したフォルダを表示します。



録音ファイルについて

■本機のフォルダ/ファイルについて

1回の録音単位を「**ファイル**」、ファイルを入れておく場所を「**フォルダ**」と呼びます。本機には複数の（A、Bなど）「**フォルダ**」が用意されており、「**ファイル**」は「**フォルダ**」に収納されて本機に内蔵されている「**メモリ**」に保存されます。



●**ファイル**

録音操作（録音→停止）をするごとに作成されます。（録音順に1、2、3…とファイル番号が付きます。）

●**フォルダ**

A→会議、B→英会話のレッスンなど、用途に応じてファイルの収納場所を分ければ、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

●**メモリ**

メモリ内をどう整理するか（どのフォルダを使うか、各フォルダにファイルをいくつ入れるか）は、メモリ内の最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、自由に設定できます。



つづく

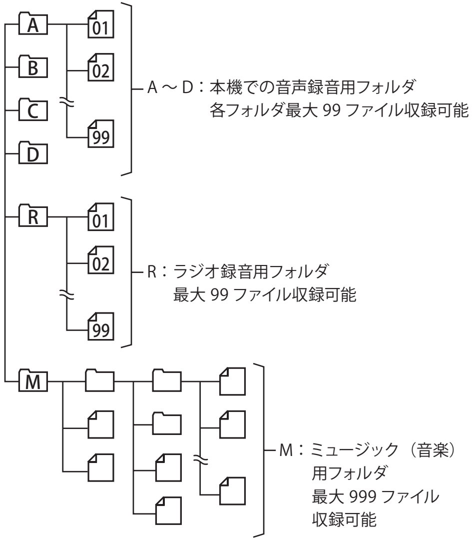
録音ファイルについて（つづき）

■ フォルダとファイル

A	B	C	D	R
├ファイル1	├ファイル1	├ファイル1	├ファイル1	├ファイル1
├ファイル2	├ファイル2	├ファイル2	├ファイル2	├ファイル2
├ファイル3	⋮	⋮	⋮	⋮

Ａ～Ｄの４種類のフォルダを使って録音できます。たとえば会議はＡフォルダ、英会話はＢフォルダのように使い分けるとデータ管理に便利です。また、ラジオ放送はRフォルダに録音されます。１回の録音単位をファイルと呼び、選んだフォルダに録音するごとに、ファイルが１、２、３・・と順次作成されていきます。消去操作をしない限りファイルは消えません。

- 何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。
- A ～ D および R フォルダでは、各録音モードの最大録音時間とは別に、本機で録音できる最大ファイル数は 1 つのフォルダにつき 99 ファイルとなります。録音残時間が残っていても、100 以上のファイルを録音することはできません。100 ファイル目を録音しようとすると “File Full!” と表示されます。空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。（☞ 52 ページ）



（□はフォルダ、□はファイル）

■録音モードと録音可能時間

録音可能時間とは、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合の合計時間です。

録音モードによって音質と録音可能時間が変わります。

工場出荷時は「SP」ですが、用途に応じて録音モードを変更してください。☞24ページ

録音モード	ステレオ/モノラル		録音可能時間	用途
	内蔵マイク	外部マイク（ステレオタイプ）		
XHQ	モノラル※	ステレオ	約17時間40分	楽器のお稽古の録音などに
HQ	モノラル※	ステレオ	約35時間30分	高音質での会話録音に
SP	モノラル※	ステレオ	約71時間	標準音質での会話録音に
LP	モノラル※	モノラル※	約142時間	長時間の会話録音に

※録音モニタ時やヘッドホン再生時は、左右両方から同じ音が出ます。

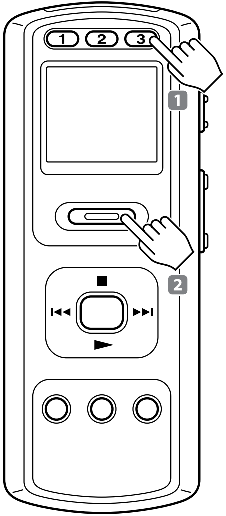
用途は一例です

■録音のコツ

- 録音場所の状況によって(風が強いなど)録音状態が異なりますので、事前にためし録音をして、適切な録音モードやマイク感度を選択してください。
- 録音中に本体やボタンに手が触れると不要な音が録音される場合がありますのでご注意ください。

メモ
- 本機は会話などの音声録音を主目的とした機器であり、音楽を録音した場合は状況によって音割れなどが発生することがあります。
  本格的な音楽録音をする場合は専用の音楽録音機器のご使用をおすすめします。
- 長時間にわたる連続録音 / 再生の場合、途中で電池の交換が必要な場合があります。
- メモリ節約のため、必要なデータはパソコンや外部機器などに保存し（☞ 70、79 ページ）、不要になったファイルを消去することをおすすめします。（☞ 52 ページ）
- ラジオ放送の録音時は自動的に HQ モードで録音します。

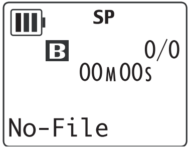
音声を録音する



■**準備**

[モード / リピート] を押して音声モードを選択します
☞ 17 ページ

1 [選局/フォルダ]を押してフォルダを選ぶ



- Rフォルダはラジオ録音用ですので選ばないでください。
- メニュー項目の「フォルダ選択」からでも選択できます。

2 [録音]を押す ▶ 録音開始

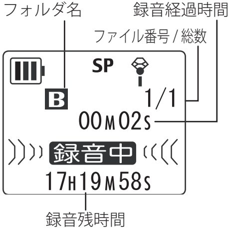
- 録音LEDが点灯します(録音LEDを「ON」に設定時 ☞68ページ)。

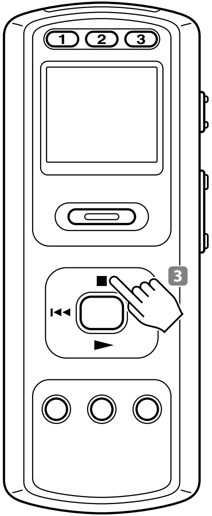
■**録音を一時停止するには**
録音中に[録音]を押す

⇨ "(((一時停止)))"表示が点滅し、一時停止されます。

- もう一度[録音]を押すと録音が再開されます。

録音一時停止状態が約15分以上続くと自動的に電源がOFFになります。(オートパワーオフを「ON」に設定時)

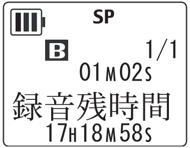




3 録音を止めるには

[停止/メニュー]を押す

▶ **録音停止**



● 録音LEDが消え、録音残時間が表示されます。

メモ

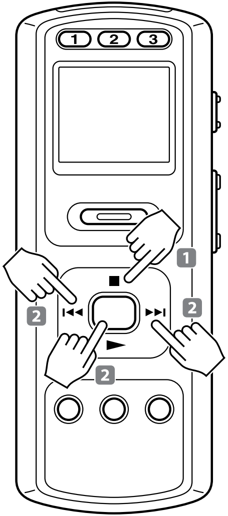
●録音中、ヘッドホン(付属)を接続すると、録音されている音声を聞くことができます。音量は、[音量]ボタンで調節できます。
☞31ページ

● マイク感度を変更することができます。
☞26ページ

●録音LEDを点灯しないようにすることができます。
☞68ページ

●Rフォルダのまま[録音]ボタンを押すと、自動的にAフォルダに録音します。ただし、Aフォルダのファイル数が99のときは録音できません。

録音モード(音質)を変える



1 停止中、[停止/メニュー]を2秒以上押す

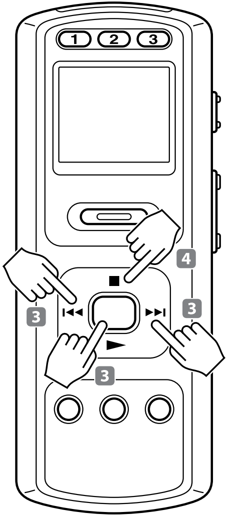
⇨「メニュー選択画面」が表示されます。



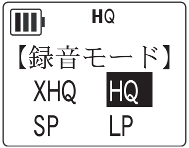
2 [I◀◀]、[▶▶I]で「 録音モード」を選び、[決定]を押す

⇨「録音モード」画面が表示され、現在のモードが反転して表示されています。





3 [I◀◀]、[▶▶I]でモードを選び、[決定]を押す



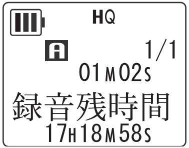
⇨録音モードが確定し、画面に反映されます。

XHQ：最高音質モード
HQ：高音質モード
SP：標準音質モード
LP：長時間モード(モノラルのみ)

メモ
各モードの録音可能時間について☞21ページ

内蔵マイクでの録音時は全てのモードでモノラル録音になります。ステレオ録音するときは、付属のステレオ外部マイクを使用してください。☞16ページ

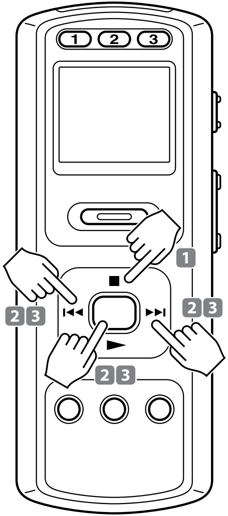
4 [停止/メニュー]を押す



⇨元の停止中状態に戻ります。

録音

マイク感度を変える



1 停止中、[停止/メニュー]を2秒以上押す

⇨「メニュー選択画面」が表示されます。



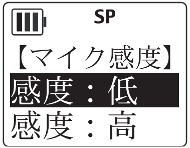
2 [I◀◀]、[▶▶I]で「マイク感度」を選び、[決定]を押す

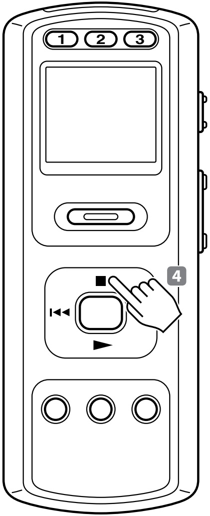
⇨「マイク感度」画面が表示され、現在のモードが反転します。



3 [I◀◀]、[▶▶I]で感度を選び、[決定]を押す

⇨マイク感度が確定し、画面に反映されます。





低：インタビューなど少人数（目安 1 ～ 2 人）の会話を近距離で録音する場合に選択します。

高：会議など複数人（目安 10 人以下）の会話を録音する場合に選択します。

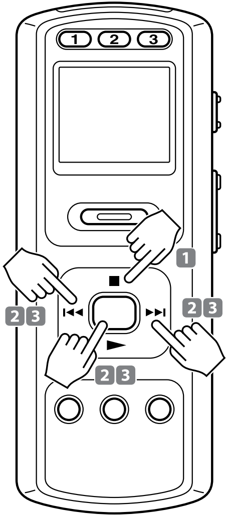
「高」を選択して音割れなどが生じた場合は「低」に変更してください。なお、大音量の音楽などを録音する場合は､「低」を選択しても音が割れたりする場合があります。

4 [停止/メニュー]を押す

⇨元の停止中状態に戻ります。

音声を感知して自動録音する（VAS）

- VAS を「ON」に設定すると、音を感知したときだけ自動的に録音を開始し、音が小さくなると録音が一時停止します。
- VAS「ON」設定で録音中は、オートパワーオフ機能は働きません。



1 **停止中、[停止/メニュー]を 2秒以上押す**

⇨「メニュー選択画面」が表示されます。



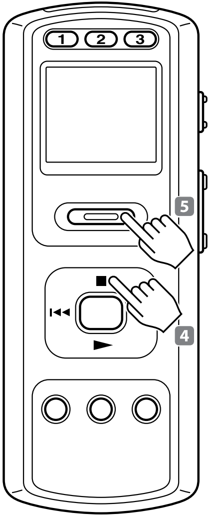
2 **[I◀◀]、[▶▶I]で「VAS設定」を選び、[決定]を押す**

⇨「VAS設定」画面が表示されます。



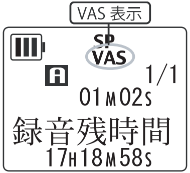
3 **[I◀◀]、[▶▶I]でVAS設定の「ON」を選び、[決定]を押す**





4 [停止/メニュー]を押す

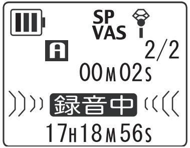
⇨VASが表示されます。



5 [録音]を押す

▶ **録音待機**

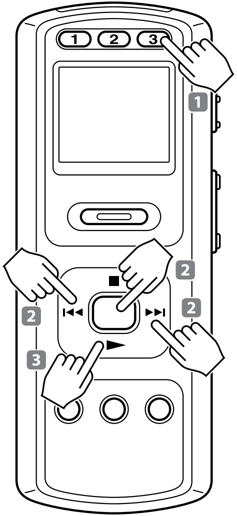
- 音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声を感知しなくなると録音待機状態に戻ります。



メモ

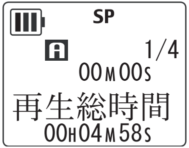
- 雑音の多い場所では録音が止まらなくなる場合があります。
- 録音待機状態のとき、VAS表示が点滅します。
- 小さな音は録音しない場合がありますので、大切な録音をするときはこの機能をOFFにしてください。
- VAS設定を「ON」に設定した時もタイマー予約録音ができます。
☞56ページ
- VAS録音時に録音ボタンを押すと、録音一時停止状態になります。

音声（A ～ D および R フォルダのファイル）を再生する



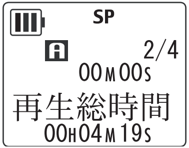
■準備

[モード / リピート] を押して音声モードを選択します
☞ 17 ページ



1 [選局/フォルダ]を押して再生するファイルのあるフォルダ(A ～ D)を選択する

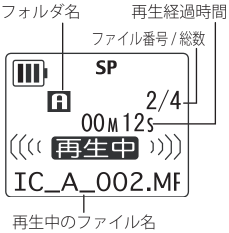
- 押すごとにフォルダ名が変わります。
- Rはラジオ放送を録音したフォルダです。
- メニュー項目の「フォルダ選択」からでも選択できます。 ☞18ページ



2 [I◀◀]、[▶▶I]でファイル番号を選ぶ

3 [▶ 電源/再生]を押す

▶ **再生開始**



- 同フォルダ内の最後のファイルまで再生し、止まります。

■再生を一時停止するには

[▶ 電源/再生]を押す（[▶ 電源/再生]で再開）

■再生を途中で停止する場合

停止/メニューボタンを押す

- 再び再生ボタンを押すと、再生を停止した位置から再生します。（再生レジューム機能）

■早送り・早戻しする場合

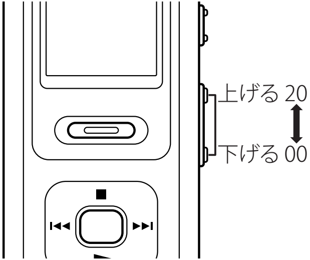
再生中に早送り（▶▶I）ボタン、早戻し（I◀◀）ボタンを2秒以上押す

■次のファイル、前のファイルを聞く場合

再生中または停止中に、早送りボタン・早戻しボタンを短く押す

■音量調節

[音量]の[大]または[小]を押して調節します

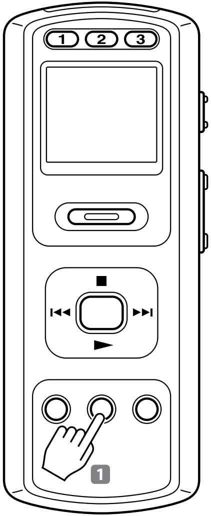




メモ

- [▶▶I]、[I◀◀]ボタンを押し続けると、「早送り」、「早戻し」のスピードが3段階で変化します。
- フォルダをまたがっての「早送り」「早戻し」はできません。
- ファイルをまたがっての「早戻し」はできません。
- 停止中に[停止/メニュー]を押すごとに、画面表示が「録音残時間」→「現時刻」→「選択中ファイルの録音日時」→「選択中ファイルの再生総時間」と切り換わります。
- 停止中または一時停止中に[▶▶I]ボタンを押すと、次のファイルの先頭に戻ります。
- 停止中または一時停止中に[I◀◀]ボタンを押すと、今選択しているファイルの先頭に戻ります。また、続けて2回押すと1つ前のファイルの先頭に戻ります。

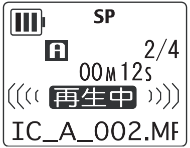
5秒前再生する



再生中のファイルの現在時点から 5 秒間戻って、再生する機能です。聞き取れなかったところなどをもう一度聞きなおすことができます。

1 再生中に、[モード/リピート]を押す

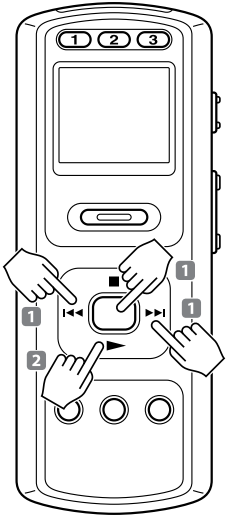
⇨押した時点から5秒間戻って再生します。



- 再生経過時間が 5 秒に満たないときには、5 秒前再生しません。

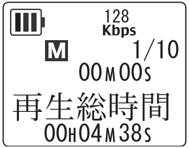
パソコンから取り込んだ音楽など（M フォルダのファイル）を再生する

音楽を再生するにはパソコンから音楽を転送しておく必要があります。☞ 90 ページ



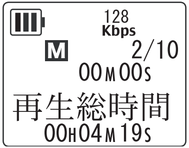
■準備

[モード / リピート] を押して音楽モードを選択します
☞ 17 ページ



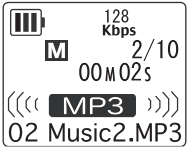
1 [⏮]、[⏭]で再生するファイル番号を選ぶ

- 「ファイル/フォルダ選択画面」からでも選択できます。 ☞18ページ



2 [▶ 電源/再生]を押す

▶ **音楽再生開始**



再生

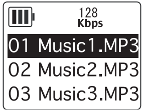
パソコンから取り込んだ音楽など（M フォルダのファイル）を再生する（つづき）

■ファイル/フォルダ選択画面から再生する

液晶パネルにファイル名やフォルダ名を表示させることで、再生したいファイル名を確認して再生できます。

1 停止中、[決定]を押す

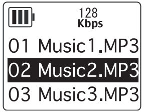
⇨「ファイル/フォルダ選択画面」が表示されます。



2 [I◀◀]、[▶▶I]で再生するファイルを選び、[▶ 電源/再生]を押す

⇨フォルダ内のファイルを再生します。

● 「ファイル/フォルダ選択画面」から通常画面に戻すときは、[停止/メニュー]を2秒以上押してください。



■フォルダを選択して再生する

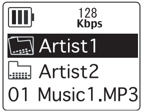
フォルダの作成については ☞ 94 ページ

■準備

「ファイル / フォルダ選択画面」を表示させる

1 [I◀◀]、[▶▶I]で再生するフォルダを選び、[決定]を押す

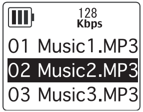
● さらにフォルダがある場合は、同様に再生するフォルダを選択します。



2 [I◀◀]、[▶▶I]で再生するファイルを選び、[▶ 電源/再生]を押す

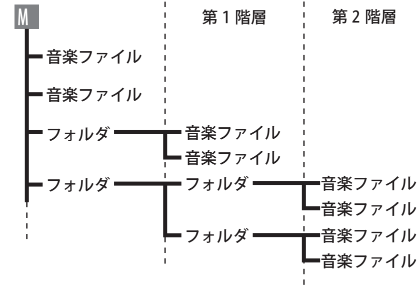
⇨フォルダ内のファイルを再生します。

● 「ファイル/フォルダ選択画面」から通常画面に戻すときは、[停止/メニュー]を2秒以上押してください。

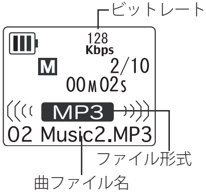


メモ

● 長いフォルダ名やファイル名はスクロール表示します。
● 容量の大きいファイルはボタンを押してから動作するまで少し時間がかかる場合があります。

> **メモ** フォルダの階層について
>
> 例）
>
> 
>
>
> - 「ファイル / フォルダ選択画面」を表示させるには、停止中に [決定] を押す
> - 第 1 階層→第 2 階層と進むときは [決定] を押す
> - 第 2 階層→第 1 階層と戻るときは [■] を押す
> - 「ファイル / フォルダ選択画面」から通常画面に戻すには、[停止 / メニュー] を 2 秒以上押す

■ Mフォルダ再生中表示



■再生中操作について

音声再生と同じです。☞31ページ

> **メモ**
>
> - 音楽ファイルはリピート再生できますが、そのモードを 1 曲リピート、全曲リピートから選ぶことができます。
>   ☞68ページ
> - パソコンでMUSICフォルダ(☞78ページ）内に複数のフォルダを作成した場合は、手順 2 でフォルダ名を選んでください。そのフォルダの全ファイルを再生し終わると続けて他のフォルダ内のファイルを自動的に再生します。
> - 停止中に[停止/メニュー]を押すごとに、画面表示が「現時刻」→「選択中の曲の再生総時間」と切り換わります。

ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります

ラジオ放送の選局について

- **FM 放送を楽しむにはヘッドホン端子にステレオヘッドホン（付属）を差し込んでください。ヘッドホンがアンテナの役目をしますので、差し込まなければ FM 放送は受信できません。**

テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してください。

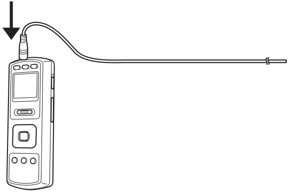
■選局方法について

本機では下記の方法で選局できます。

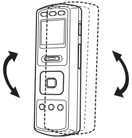
- プリセット選局モード…あらかじめプリセット（記憶）した放送局を選局するときに使います。「地域選択」や「自動選局」で自動的に受信できる放送局をプリセットすることができます。また、ご自分でプリセットすることもできます。本機では、FM/AM それぞれの放送局を 01 ～ 20 まで計 20 局ずつプリセットできます。
- 手動選局モード…受信したい放送局の周波数を手動で合わせます。

■よりよい受信をするために

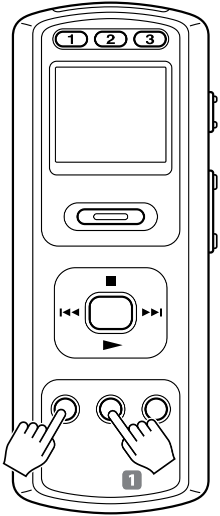
- FM…付属のステレオヘッドホンを必ず本機のヘッドホン端子に差し込んでください。また、ヘッドホンのコードをできるだけのばした状態でお使いください。



- AM…AM アンテナは内蔵されていますので、本機の向きによって受信状態が変わります。放送が最もよく聞こえる向きに本機を向けてください。



ラジオ放送を受信する

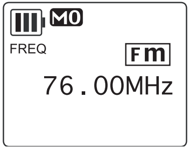


1 [モード/リピート]を押し、放送(FM/AM)を選ぶ



⇨押すごとに、FM→AM→音声モード→音楽モード→FM…と切り換わります。

■FM受信時、[消去/モノラル]を押して、ステレオまたはモノラルを選ぶ

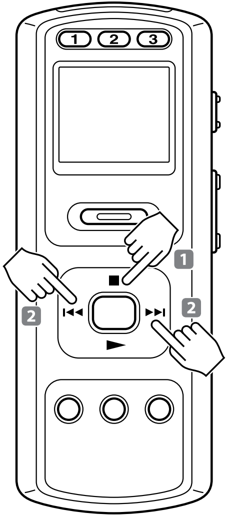


⇨ステレオ設定時は「ST」が、モノラル設定時は「MO」が表示します。

- ステレオ受信時、受信状態によって雑音で聞こえにくい場合があります。そのときは、モノラルを選ぶとモノラル音声になり聞きやすくなる場合があります。
- FM文字放送には対応していません。
- AMステレオ放送には対応していません。

地域選択でプリセットする

地域名（エリア）別に主な放送局がすでに登録されています。☞ 40 ページ
（工場出荷時は「大阪」に設定されています。）
地域名（エリア）を選択することで自動的にプリセットできます。
既にプリセットされている内容に上書きしてプリセットします。



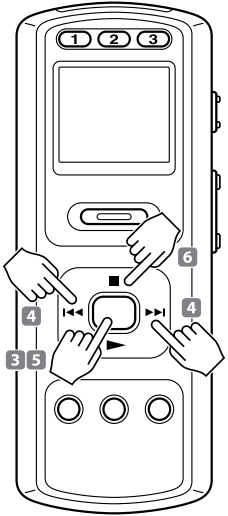
1 [停止/メニュー]を2秒以上押す

⇨メニュー選択画面が表示されます。



2 [I◀◀]、[▶▶I]で「地域選択」を選ぶ





3 [決定]を押す

⇨[エリアバンド]設定画面が表示されます。



4 [I◀◀]、[▶▶I]で地域名（エリア）を選ぶ



5 [決定]を押す

⇨地域が確定し、その地域のFM/AM各放送局がプリセットされます。

6 [停止/メニュー]を押す

⇨元の停止中状態に戻ります。

地域選択でプリセットする（つづき）

■エリアバンドプリセット一覧

札幌

AM

	放送局名	周波数
1	NHK第1札幌	567 KHz
2	NHK第2札幌	747 KHz
3	北海道放送	1,287 KHz
4	STVラジオ	1,440 KHz

FM

	放送局名	周波数
1	FM北海道	80.4 MHz
2	FM NORTH WAVE	82.5 MH z
3	NHK FM札幌	85.2 MHz

仙台

AM

	放送局名	周波数
1	岩手放送	684 KHz
2	NHK第1仙台	891 KHz
3	山形放送	918 KH z
4	秋田放送	936 KHz
5	NHK第2仙台	1,089 KHz
6	青森放送	1,233 KHz
7	東北放送	1,260 KHZ
8	ラジオ福島	1,458 KHz

FM

	放送局名	周波数
1	FM岩手	76.1 MH z
2	FM仙台	77.1 MH z
3	FM青森	80.0 MH z
4	FM山形	80.4 MHz
5	ふくしまFM	81.8 MHz
6	NHK FM仙台	82.5 MHz
7	FM秋田	82.8 MHz

東京

AM

	放送局名	周波数
1	NHK第1東京	594 KHz
2	NHK第2東京	693 KHz
3	山梨放送	765 KHz
4	TBS	954 KHz
5	文化放送	1,134 KHz
6	茨城放送	1,197 KHz
7	日本放送	1,242 KHz
8	ラジオ日本	1,422 KHz
9	栃木放送	1,530 KHz

FM

	放送局名	周波数
1	Inter FM	76.1 MHz
2	FM栃木	76.4 MHz
3	bayfm	78.0 MHz
4	NACK5	79.5 MHz
5	TOKYO FM	80.0 MHz
6	J-WAVE	81.3 MHz
7	NHK FM東京	82.5 MHz
8	FM富士	83.0 MHz
9	FMヨコハマ	84.7 MHz
10	FM群馬	86.3 MHz

名古屋

AM

	放送局名	周波数
1	NHK第1名古屋	729 KHz
2	北日本放送	738 KHz
3	福井放送	864 KHz

4	NHK第2名古屋	909 KHz
5	CBCラジオ	1,053 KHz
6	信越放送	1,098 KHz
7	北陸放送	1,107 KHz
8	新潟放送	1,116 KHz
9	東海ラジオ	1,332 KHz
10	SBS	1,404 KHz
11	岐阜放送	1,431 KHz

FM

	放送局名	周波数
1	FM福井	76.1 MHz
2	FM－NIIGATA	77.5 MHz
3	ZIP FM	77.8 MHz
4	FM三重	78.9 MHz
5	FM PORT	79.0 MHz
6	K-MIX	79.2 MHz
7	RADIOi	79.5 MHz
8	FM長野	79.7 MHz
9	Radio 80	80.0 MHz
10	FM石川	80.5 MHz
11	FM愛知	80.7 MHz
12	NHK FM名古屋	82.5 MHz
13	FMとやま	82.7 MHz

大阪

AM

	放送局名	周波数
1	ラジオ関西	558 KHz
2	NHK第1大阪	666 KHz
3	NHK第2大阪	828 KHz
4	ABC	1,008 KHz
5	KBS京都	1,143 KHz
6	毎日放送	1,179 KHz
7	ラジオ大阪	1,314 KHz
8	和歌山放送	1,431 KHz

FM

	放送局名	周波数
1	FM COCOLO	76.5 MHz
2	FM滋賀	77.0 MHz
3	FM802	80.2 MHz
4	NHK FM京都	82.8 MHz
5	FM大阪	85.1 MHz
6	NHK FM神戸	86.5 MHz
7	NHK FM大阪	88.1 MHz
8	α-station	89.4 MHz
9	Kiss FM	89.9 MHz

広島

AM

	放送局名	周波数
1	NHK第2広島	702 KHz
2	山口放送	765 KHz
3	高知放送	900 KHz
4	NHK第1広島	1,071 KHz
5	南海放送	1,116 KHz
6	四国放送	1,269 KHz
7	中国放送	1,350 KHz
8	山陰放送	1,431 KHz
9	西日本放送	1,449 KHz
10	山陽放送	1,494 KHz

つづく

地域選択でプリセットする（つづき）

FM

	放送局名	周波数
1	FM岡山	76.8 MHz
2	FM山陰	77.4 MHz
3	HFM	78.2 MHz
4	FM香川	78.6 MHz
5	FM山口	79.2 MHz
6	FM愛媛	79.7 MHz
7	FM徳島	80.7 MHz
8	FM高知	81.6 MHz
9	NHK広島	88.3 MHz

福岡

AM

	放送局名	周波数
1	NHK第1福岡	612 KHz
2	琉球放送	738 KHz
3	ラジオ沖縄	864 KHz
4	宮崎放送	936 KHz
5	NHK第2福岡	1,017 KHz
6	大分放送	1,098 KHz
7	南日本放送	1,107 KHz
8	熊本放送	1,197 KHz
9	長崎放送	1,233 KHz
10	RKB毎日	1,278 KHz
11	九州朝日	1,413 KHz
12	ラジオ佐賀	1,458 KHz

FM

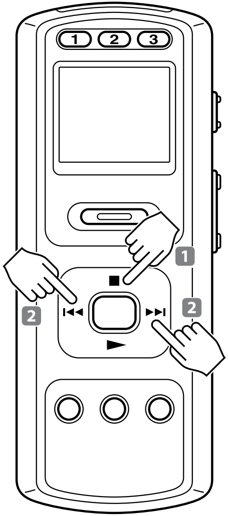
	放送局名	周波数
1	LOVE FM	76.1 MHz
2	フレンズFM	76.2 MHz
3	FM熊本	77.4 MHz
4	FM佐賀	77.9 MHz
5	CROSS FM	78.7 MHz
6	FM長崎	79.5 MHz
7	FM鹿児島	79.8 MHz
8	FM福岡	80.7 MHz
9	FM宮崎	83.2 MHz
10	NHK FM福岡	84.8 MHz
11	FM沖縄	87.3 MHz
12	FM大分	88.0 MHz

表中の放送局名と本機で表示される放送局名とは異なる場合があります。

自動選局でプリセットする

今本機が受信できる FM/AM 各放送局を自動的に受信してプリセットできます。

すでにプリセットされている内容に上書きして記憶します。



1 [停止/メニュー]を2秒以上押す

⇨メニュー選択画面が表示されます。



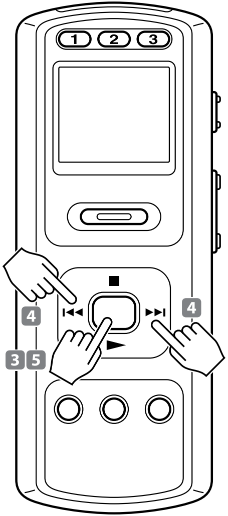
2 [I◀◀]、[▶▶I]で「自動選局」を選ぶ



ラジオ

つづく

自動選局でプリセットする（つづき）



3 [決定]を押す

⇨[自動選局]設定画面が表示されます。



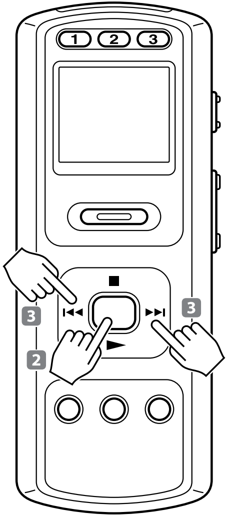
4 [I◀◀]、[▶▶I]で「FM」または「AM」を選ぶ

5 [決定]を押す

⇨周波数の下限から自動的に選局が始まり、受信した放送局を自動的にプリセットします。受信できる放送局が20局登録されるか、周波数の上限に達すると終了し、プリセット「01」に登録された放送局を受信します。

- ●電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動選局できない場合があります。
- ●周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが故障ではありません。

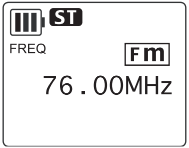
手動選局で選局する



1 ラジオ放送を受信する

☞37ページ

2 [決定]を押し、手動選局モード[FREQ]を選ぶ



⇨[決定]を押すごとに[FREQ]→[PRE]→[FREQ]…と切り換わります。

3 [I◀◀]、[▶▶I]で希望の放送局を受信する

● オート(自動)スキャンチューニング

[I◀◀]、[▶▶I]を2秒以上押すと、周波数が自動的に進み(戻り)放送局を受信すると自動停止します。

●電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。

●周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが故障ではありません。

つづく

手動選局で選局する（つづき）

● マニュアル（手動）チューニング

[⏮]、[⏭]をポンポンと押すと、周波数がAM受信時は9KHzステップ、FM受信時は0.1MHzステップで進み（戻り）ます。

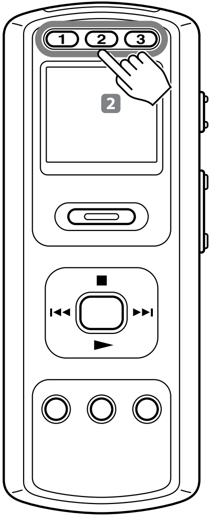
選局時、周波数は正しく合わせてください。周波数は新聞の番組欄などに記載されています。

よく聞く放送局を手動でプリセットする

■ワンタッチプリセット

よく聞く放送局をFM/AMそれぞれ3局まで1 ～ 3の[選局]ボタンにプリセットできます。

すでにプリセットされているプリセット「01」「02」「03」の内容に上書きして記憶します。（たとえば [選局 2] のボタンに記憶すると先にプリセットされていた「02」の内容が消え、新しい内容に変わります。）



■[選局]ボタンにプリセットする

1 プリセットしたい放送局を受信する

2 [選局]1 ～ 3のいずれかを2秒以上押す

⇨「OK!」と表示され、選んだ選局ボタンにプリセットされました。



■[選局]ボタンで選局する

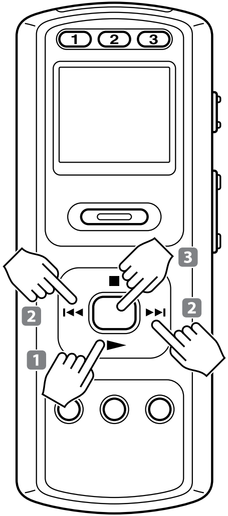
[選局]1 ～ 3のいずれかを押す

⇨ プリセットされた放送局を受信します。

ラジオ

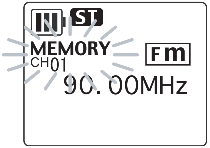
希望局を手動でプリセットする

AM/FM それぞれ 01 ～ 20 まで計 20 局プリセットできます。



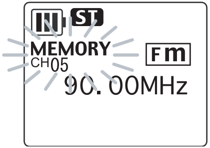
■準備

プリセットしたい放送局を選局する ☞ 45 ページ



1 [▶ 電源/再生]を押す

⇨MEMORY CH01が約5秒間点滅します。



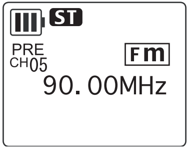
2 点滅している間に[I◀◀]、[▶▶I]で希望のプリセット番号を選ぶ

⇨選択したプリセット番号が約 5 秒間点滅します。

- プリセット番号は01 ～ 20から選びます。

すでにプリセットされた番号を選ぶと上書きして記憶されます。

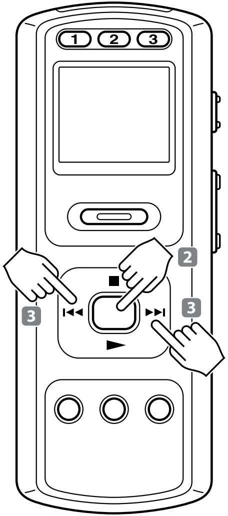




3 点滅している間に[決定]を押す

⇨放送局が記憶され、プリセット選局モードになります。

プリセットした放送局を聞く



1 ラジオ放送を受信する

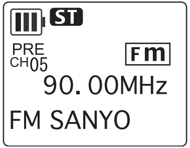
☞37ページ

2 [決定]を押し、プリセット選局モード[PRE]を選ぶ

⇨押すごとに[FREQ]→[PRE]→[FREQ]…と切り換わります。



3 [⏮]、[⏭]で希望のプリセット番号を選ぶ



メモ

- ラジオ受信時、ヘッドホンまたはスピーカー出力が選択できます。

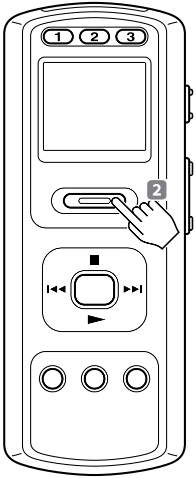
☞67ページ

- プリセット(記憶)した放送局を消去するときは、消去したい放送局を受信中に[消去/モノラル]を2秒以上押し、"DEL"表示が点滅している間に[決定]を押します。

ラジオ

ラジオ放送を録音する

ラジオ放送を録音することができます。録音したファイルはすべて R フォルダに保存します。ファイル名は録音順に自動的につけられて保存します。



1 録音したい放送局を受信する

☞45、49ページ

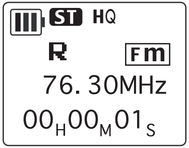
放送がよく受信できる状態にして下さい　☞36ページ

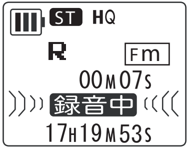


2 [録音]を押す→録音開始

- 録音LEDが点灯します（録音LEDを「ON」に設定時　☞68ページ）。
- ファイル名は録音順に自動的につけられて保存します。

●自動的にHQモードで録音します。それ以外の録音モードは選べません。



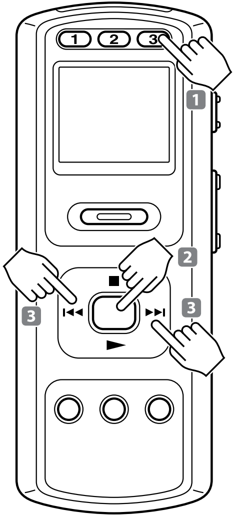


■録音中操作について

音声録音と同じです。☞22、23ページ

- 受信環境によっては、録音中、ラジオ放送にノイズが入る場合があります。また、電波の弱い場所では、耳でラジオ放送を聞いているときにはきれいに聞こえていても、録音するとノイズを拾ってしまうことがあるため、実際に試し録音を行い、もし電波が弱くノイズが入るようであれば、場所を移動するなどしてきれいに録音できる場所で録音してください。
- ラジオ放送の録音中は、ヘッドホンからのみラジオ放送を聞くことができます。スピーカーで聞くことはできません。

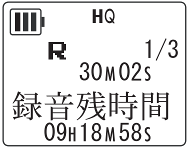
録音したラジオ放送を再生する



■準備

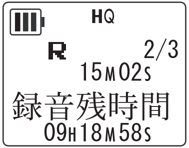
音声モードを選択します　☞ 17 ページ

1 [選局/フォルダ]を押してRフォルダを選ぶ



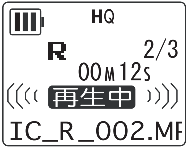
- メニュー項目の「フォルダ選択」からでも選択できます。☞18ページ

2 [⏮]、[⏭]で再生したいファイルを選ぶ



3 [▶ 電源/再生]を押す

▶ 再生開始



- 同フォルダ内の最後のファイルまで再生し、止まります。

■再生を一時停止するには

[▶ 電源/再生]を押す（[▶ 電源/再生]で再開）

■再生中操作について

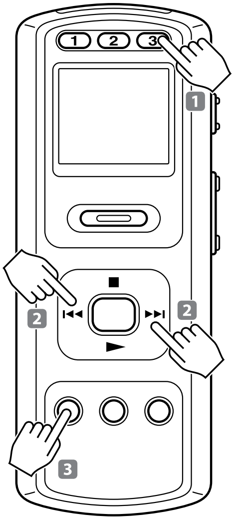
音声録音と同じです。☞31ページ

ファイルを１件消去する

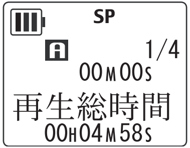
- **一度消去した音声などは元に戻すことができません。**
- 消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。（誤消去の防止）

全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。☞ 70、79 ページ

操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

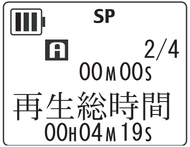


1 [選局/フォルダ]で消去するファイルのあるフォルダ(A ～ D、R)を選ぶ

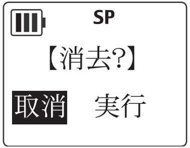


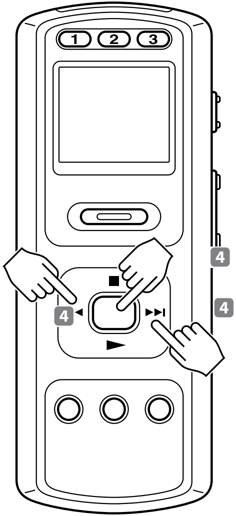
- 音楽ファイルを消去するときは、[モード/リピート]を押して、音楽モードにします。 ☞17ページ

2 [⏮]、[⏭]で消去するファイル番号を選ぶ



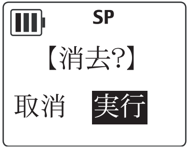
3 停止中、[消去/モノラル]を押す





4 [I◀◀]、[▶▶I]で「実行」選び、[決定]を押す

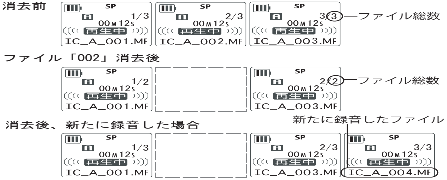
⇨ 1 件消去が実行されます。



メモ

- 以下のようなファイルは消去できません。
  - －MP3、WMA形式以外のファイル
  - －再生可能なフォルダ(☞78ページ）に入っていないファイル

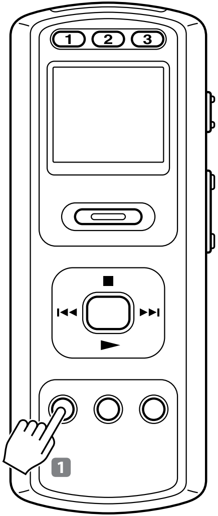
- 録音すると「001 ～ 999」までの番号のファイルが自動的に作成されます。一度もファイル消去しなければ、最大で 1 フォルダ内にファイル名「001 ～ 099」のファイルが作成されます。
- ファイル消去した場合、総ファイル数は減りますが、消去したファイル名（番号）は空いたままになります。例えば、1 つのフォルダにファイルが「001」、「002」、「003」とある場合、ファイル「002」を消去してもファイル「003」は「002」に繰り上がりません。消去後新たに録音すると、ファイル「002」は空いたままで、ファイル「004」が作成されます。
- ファイル作成、消去を繰り返し、ファイル「999」が作成された場合、それ以上録音しようとすると “File Full!” と表示されます。空いているフォルダに切り換えるか、必要なデータをバックアップしてからフォーマットしてください。フォーマットすると全フォルダのデータが消去されますのでご注意ください。☞ 54 ページ



消去

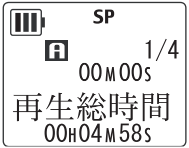
すべてのファイルを消去する（フォーマット）

- **一度消去した音声などは元に戻すことができません。**
- 消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。（誤消去の防止）
  全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。☞ 70、79 ページ
- 全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

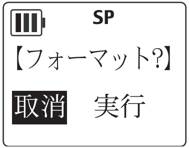


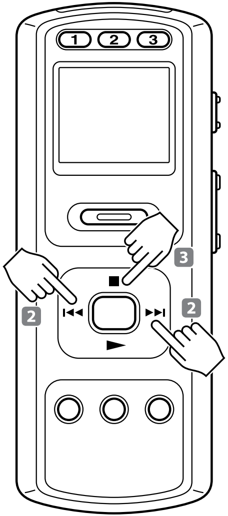
■準備

[モード/リピート]を押し、音声モードまたは音楽モードを選ぶ ☞ 17 ページ



1 停止中、[消去/モノラル]を2秒以上押す





2 [⏮]、[⏭]で「実行」選び、[決定]を押す



⇨"Formatting"

⇨"完了"と、表示され、全データが消去されます。

●「取消」を選ぶとフォーマットが中止されます

3 [停止/メニュー]を押す

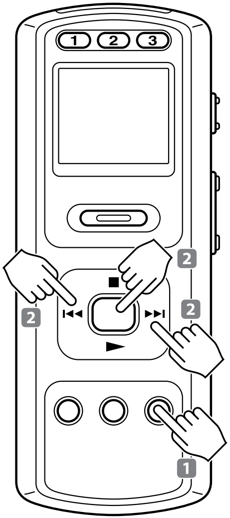
⇨元の停止中状態に戻ります。

消去

タイマー予約録音する

操作前に電池の残量が充分にあることを確認してください。 ☞ 10 ページ

■ ラジオ放送をタイマー予約録音する（Rフォルダに録音されます）



■準備

- 時刻表示がずれていないか確認してください（時報などで正確に時刻設定してください ☞ 14 ページ）
- 録音する放送局がよく受信できる状態にしてください ☞ 36ページ

1 ラジオ受信中、[予約]を押す

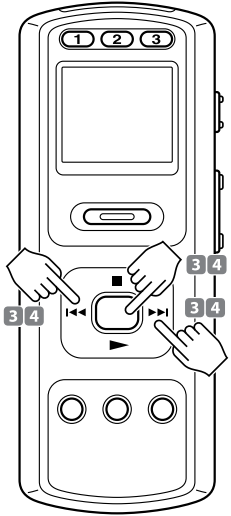
⇨"タイマー予約設定画面"が表示されます。



2 [I◀◀]、[▶▶I]で予約番号を選び、[決定]を押す

- 予約01 ～ 05まで計5件予約設定できます。





3 [I◀◀]、[▶▶I]で「1回」、「毎日」または曜日を選び、[決定]を押す



- 1回…予約開始時刻になるとタイマー予約録音を開始します。
- 毎日…毎日、予約開始時刻になるとタイマー予約録音を開始します。
- 月～日…毎週、設定した曜日の予約開始時刻になるとタイマー予約録音を開始します。

最大予約件数（5件）以内であれば、上記の予約方法をいろいろ組み合わせることができます。但し、予約録音の設定時間が重複しないようにご注意ください。
☞61ページ

例1："1回"を5回予約 ------------ OK

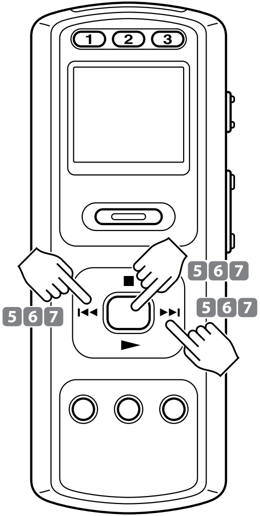
例2："1回"を2回
"毎日"を1回
"月～日"を2回
予約 ---- OK



4 [I◀◀]、[▶▶I]で「FM」または「AM」を選び、[決定]を押す

タイマー

つづく



5 [⏮]、[⏭]で録音する放送局の周波数を選び、[決定]を押す

- 最初に表示されている周波数は、前回予約録音で設定した周波数、または最後に受信していた周波数です。
- [⏮]、[⏭]を押し続けると、連続して周波数が変わります。

予約 03
〔1回 〕取消
FM 80.20MHz
00:00 30分

6 [⏮]、[⏭]で開始時刻（時）を選び、[決定]を押す

- [⏮]、[⏭]を押し続けると、連続して時刻が変わります。

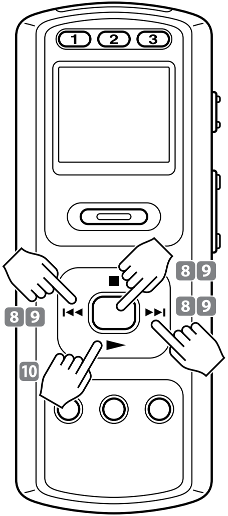
予約 03
〔1回 〕取消
FM 80.20MHz
20:00 30分

7 同様に開始時刻（分）を選び、[決定]を押す

- [⏮]、[⏭]を押し続けると、連続して時刻が変わります。

本機の時刻設定がずれていると、番組の初めが録音されない場合がありますので、放送開始時刻より少し早めに設定されることをおすすめします。

予約 03
〔1回 〕取消
FM 80.20MHz
20:29 30分



8 [⏮]、[⏭]で録音時間を選び、[決定]を押す

- 10 ～ 120分間までは5分単位で設定できます。
- 120～240分間は10分単位で設定できます。

本機の時刻設定がずれていると、番組の終わりが録音されないことがありますので放送時間より少し長めに録音時間を設定されることをおすすめします。

予約 03
〔1回 〕 取消
FM 80.20MHz
20:29 40分

9 [⏮]、[⏭]で「実行」を選択し、[決定]を押す

⇨ [タイマー記号]が表示され、録音時間が設定されます。

- 実行…予約録音設定後、タイマー予約が実行されます。
- 取消…予約録音設定後、予約設定はされますがタイマー予約は実行されません。

予約録音の開始時間が重複している場合は実行が選択できません。他の予約開始時間を確認してください。

予約 03
〔1回 〕 実行
FM 80.20MHz
20:29 40分

つづく

タイマー予約録音する(つづき)

10 [▶ 電源/再生]を2秒以上押して本機の電源を切る

- 受信状態が変わりますので、放送がよく聞こえる状態から本機を動かさないでください。
- ＦＭラジオ放送をタイマー予約する場合は、ヘッドホン端子にステレオヘッドホン(付属)を差し込んだままにしてください。ヘッドホンがアンテナの役目をしますので、差し込まなければＦＭラジオは受信できず、録音もできません ☞36ページ



■音声をタイマー予約録音するには(Aフォルダに録音されます)

手順 4 で「MIC」を選び[決定]を押し、手順 6 から再び設定してください。

■タイマー予約録音の設定を解除するには

手順 9 で取消を選択し、[決定]を押す。

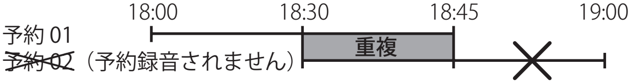
メモ

- 設定時刻になると自動的に録音が始まり、音声は**Aフォルダ**内に、ラジオ放送は**Rフォルダ**内に新しいファイルが作成されます。(AフォルダまたはRフォルダ内のファイル数が99あるときは録音できません。)
- 設定時刻に電源が切れている場合、自動的に電源が入って録音を始めます。
- 録音が終了すると自動的に電源が切られます。
- 設定操作中に設定をキャンセルするには[停止/メニュー]を押します。
- タイマー予約録音中でも、[録音]を押すと録音一時停止になります。また、[停止/メニュー]を押すと録音は停止します。
- タイマー予約録音を設定し、録音待機中でも通常の録音が可能です。
- B,C,Dフォルダにはタイマー録音できません。

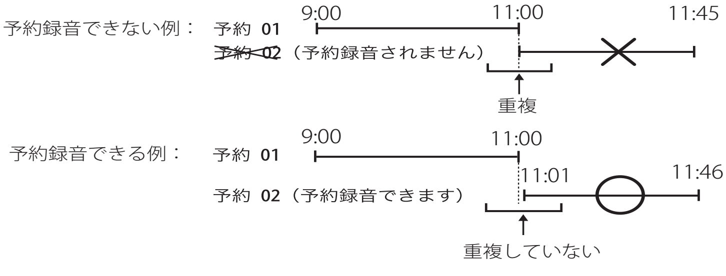
タイマー予約録音についてのご注意

タイマー予約録音する際、予約録音の設定時間が重複している場合や、予約録音の録音終了時刻と次の録音開始時刻が同じ場合、後から開始する予約録音は自動的に取り消され、予約録音されませんのでご注意ください。

例 1）予約録音の設定時間が重複した場合、後から開始する予約録音が取り消されます。
　※ 毎日予約、毎週予約でも予約時間が重なることのないようにご注意ください。

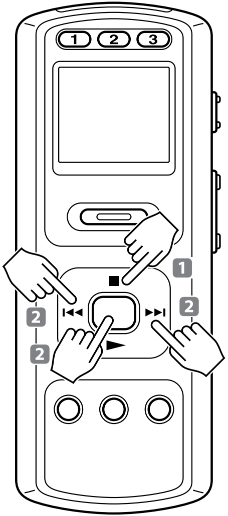


例 2）9：00 ～ 11：00（120 分) の番組（予約 01）と 11：00 ～ 11：45（45 分）の番組（予約 02）を録音する場合、録音終了時刻と次の録音開始時刻との間に **1 分以上**の間隔を空けてください。
　※ 予約一件あたりの録音時間は、10 ～ 120 分まで 5 分単位で設定できます。
　※ 120 分以上録音する場合は、2 件に分けてタイマー予約録音を設定してください。



集音器として使用する

本機を集音器として使う場合の機能です。マイクで集音された周囲の音声をヘッドホンで聞き取ることができます。
（工場出荷時は「OFF」に設定されています。）



■準備

[モード / リピート] を押して音声モードを選択します
☞ 17 ページ）

1 停止中､[停止/メニュー]を2秒以上押す

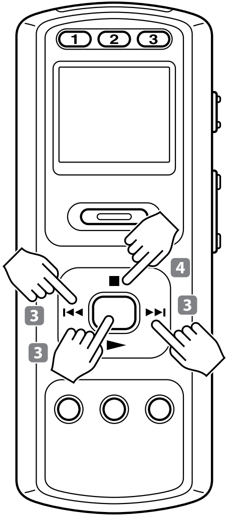
⇨メニュー選択画面が表示します。



2 [I◀◀]､[▶▶I]で「マイクモニター」を選び､[決定]を押す

⇨マイクモニター設定画面が表示します。





3 [I◀◀]、[▶▶I]で「ON」を選び、[決定]を押す



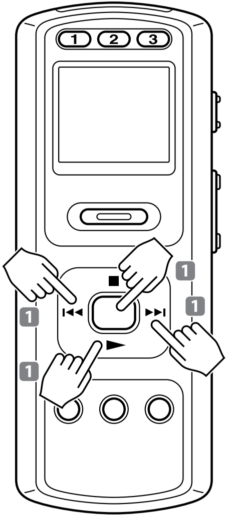
4 [停止/メニュー]を押す

⇨設定ができました。

メモ

マイクモニター「ON」に設定後に、他操作（録音・再生・ラジオ受信等）をした場合、マイクモニターは自動的に「OFF」に切り換わります。

設定操作（メニュー）の流れ

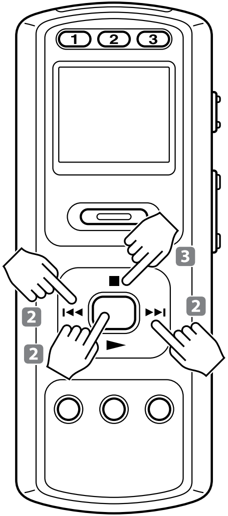


1 停止中、[停止/メニュー]を2秒以上押し、[I◀◀]、[▶▶I]を使って大項目を選び、[決定]を押す



⇨各項目メニュー選択画面が表示されます。

[フォルダ設定]：A ～ DまたはRフォルダの選択
[録音モード]：録音音質の設定
[VAS設定]：自動録音機能のON/OFF
[マイクモニター]：マイクモニター機能のON/OFF
[マイク感度]：マイクの感度設定
[自動選局]：受信できるFM/AMラジオ放送局の自動プリセット（記憶）
[出力設定]：ラジオ受信時の出力先の設定
[地域選択]：使用する地域選択による自動プリセット
[リピート]：リピートの設定
[バックライト]：液晶パネルのバックライトのON/OFF
[録音LED]：録音LEDのON/OFF
[BEEP音設定]：操作音とビープ音（ピッ）のON/OFF
[カレンダ設定]：カレンダ（日時）の設定
[オートパワーオフ]：オートパワーオフ機能のON/OFF
[コントラスト]：液晶パネルのコントラスト調節
[バージョン]：ソフトウェアのバージョン表示



2 [I◀◀]、[▶▶I]を使って設定メニューを選び、[決定]を押す



⇨それぞれの設定画面が表示されます。

3 [停止/メニュー]を押す

⇨元の停止中画面に戻ります。

- 設定中、[停止/メニュー]を2秒以上押して設定状態を抜けると設定がキャンセルされます。

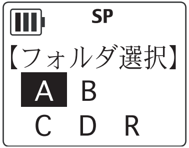
設定する

■ フォルダ設定

- **Aフォルダ**：
- **Bフォルダ**：
- **Cフォルダ**：
- **Dフォルダ**：

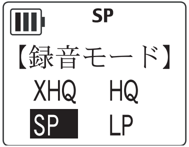
（A〜Dフォルダ）音声録音用フォルダ

- **Rフォルダ**：ラジオ録音用フォルダ



■ 録音モード

- **XHQ**：最高音質モード
- **HQ**：高音質モード
- **SP**：標準音質モード
- **LP**：長時間モード



●「録音モード（音質）を変える」参照 ☞24ページ

■ VAS 設定

- **OFF**：VAS機能を使用しません
- **ON**：VAS機能を使用します



●「音声を感知して自動録音する（VAS）」参照 ☞28ページ

■ マイクモニター

- **OFF**：マイクモニターを使用しません
- **ON**：マイクモニターを使用します



●録音中は「OFF」に設定していてもマイクモニターできます
●「集音器として使用する」参照 ☞62ページ

■**マイク感度**

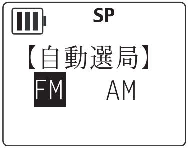


- **低**: インタビューなど少人数(目安1～2人)の会話を近距離で録音する場合
- **高**:会議など複数人(目安10人以下)の会話を録音する場合

大音量の音楽などを録音する場合は、「低」にしても音が割れたりすることがあります。

●「マイク感度を変える」参照 ☞26ページ

■**自動選局**



本機が受信できるFM/AMの各放送局を自動的にプリセットできます

- **FM**
- **AM**

●「自動選局でプリセットする」参照 ☞43ページ

■**出力設定**



- **ヘッドホン**：ラジオ放送をヘッドホンから出力します
- **スピーカー**：ラジオ放送をスピーカーから出力します

※FM受信時はヘッドホンがアンテナの役目をしますので「スピーカー」を選択時でもヘッドホン(付属)をヘッドホン端子に差し込んでください。

●スピーカー出力に設定していても、ラジオ放送を録音すると自動的にヘッドホン出力に切り換わります。ラジオ録音中は、ヘッドホンでお聞きください。

■**地域選択**



- **札幌**:北海道地方
- **仙台**:東北地方
- **東京**:関東地方
- **名古屋**:中部･北陸地方
- **大阪**:関西地方
- **広島**:中国･四国地方
- **福岡**:九州地方

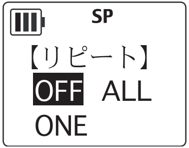
●「地域選択でプリセットする」参照 ☞38ページ

つづく

設定する(つづき)

■ リピート

- **OFF**: リピート機能を使いません。
- **ALL**: すべての曲を繰り返し再生します。
- **ONE**:選択中の1曲を繰り返し再生します。



音楽モード時のみ有効です

■ バックライト

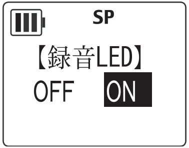
- **OFF**: バックライトを点灯しません。
- **ON**: ボタン操作時に液晶パネルのバックライト約5秒間点灯します。



「ON」に設定していても録音中は、バックライトは点灯しません。

■ 録音 LED

- **OFF**:録音時に録音LEDを点灯しません。
- **ON**:録音時に録音LEDを点灯します。



■ BEEP 音設定

- **OFF**:操作音・ビープ音(ピッ)を解除します。
- **ON**:操作音・ビープ音(ピッ)を鳴らします。



■ カレンダ設定



●「カレンダ(日時)を設定する」参照☞14ページ

■オートパワーオフ

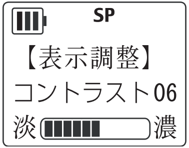
- **OFF**：オートパワーオフ機能は働きません。
- **ON**：オートパワーオフ機能が働きます。



●「電源を入れる/切る」参照☞12ページ

■ コントラスト

- 淡01ー濃10：表示パネルのコントラストを調整します。



■ バージョン

ソフトウェアのバージョンを表示します。

メモ

- 工場出荷時の設定
  液晶パネルの各表示イラストで反転（白ヌキ）表示しています。

外部機器と接続する

■外部機器へ録音(バックアップ)する

1 本機の音量を調節します。

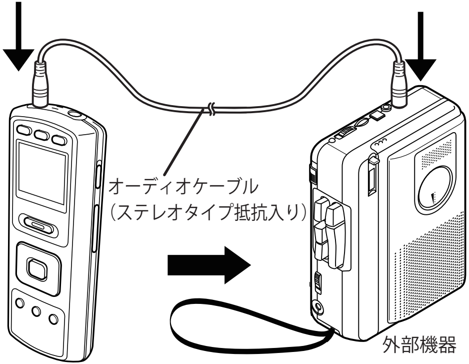
● 31ページ「音量調節」参照。

2 ミニプラグ(3.5ϕ)つきで、ステレオタイプのオーディオケーブル(市販品)を、本機のステレオヘッドホン(🎧)端子と外部機器のマイク端子に接続します。

3 外部機器の録音を開始します。

4 録音したいファイル(録音内容)を選択し、本機の再生を開始します。

● 30ページ「音声(A ~ DおよびRフォルダのファイル)を再生する」参照。



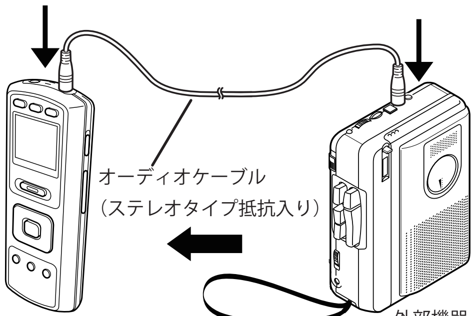
ご注意

● テープレコーダーなどの音声(ライン)入力端子を使用して接続する場合は「抵抗なし」オーディオケーブル(ステレオタイプ)をご使用ください。

● バックアップ前には必ず試し録音をして、本機側で音量の調節をしてください。

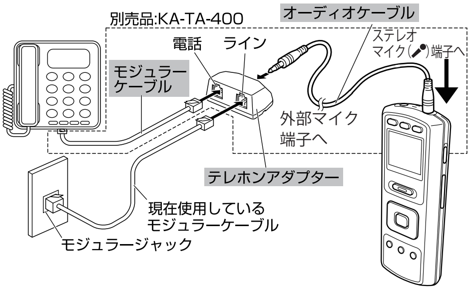
■外部機器の音声を録音する

外部機器の出力を本機のステレオマイク（🎤）端子に接続してください。



■電話の音声を録音する

（別売品：電話録音キット KA-TA-400 使用時）
電話録音キットを下記のように接続してください。



ご注意

● 必ず事前に試し録音をしてください。
● 電話の音声を録音する時はモノラル音声での録音となります。
● ビジネスホンやホームテレホンなど対応していない電話機があります。
● 携帯電話を録音したい場合は市販の録音アダプタをご購入ください。

パソコンに接続する/取り外す

■動作環境

- Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。

対応機種	Windows標準搭載パソコン
対応OS (日本語版)	Windows Vista Windows XP Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000 Professional (SP3以降)
USB端子	本製品接続時に1つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能搭載

- **Windows Media Playerのバージョンについて**

Windows Media Player 11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player 10	Windows XP
Windows Media Player 9	Windows Millennium Edition (Me) Windows 2000 Professional (SP3以降)

※上記以外のWindows Media Playerでの動作保証はいたしません。

※上記は2007年10月現在での動作環境です。

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
  ※ サスペンド:
  CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
- 著作権保護のされているファイルには対応しておりません。
- Windows Vista/XP/2000をお使いの場合
  1. 管理者権限(Administrators)のユーザにてご使用ください。
  2. Windows XP/2000で導入された「ダイナミックディスク」には動作保証していません。

■Windows Media Playerのバージョンを確認する

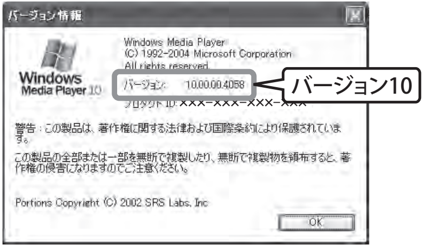
1 〔スタート〕メニューから〔すべてのプログラム〕-〔Windows Media Player〕を選択して、Windows Media playerを起動します。

2 メニューバーが表示されている場合は、〔ヘルプ〕-〔バージョン情報〕をクリックして〔バージョン情報〕ウィンドウを表示します。



- メニューバーが表示されていない場合は、手順1のWindows Media Playerを起動した状態で、キーボードの〔Ctrl〕キーを押しながら〔M〕を押すとメニューバーが表示されます。

3 〔バージョン〕の右側に表示されている数字を確認します。



- 一番左のケタ番号が、お使いのWindows Media Playerのバージョンです。

  9.××.××……………………⇒バージョン9
  10.××.××……………………⇒バージョン10
  11.××.××……………………⇒バージョン11

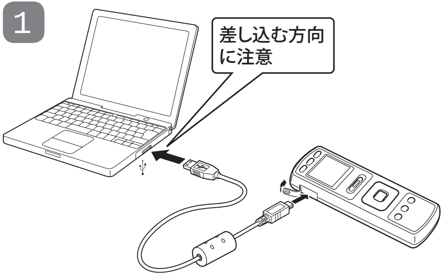
  ※6.××…、7.××…、8.××…と表記されているバージョンは動作保証致しません。
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspxよりお使いのOSに対応した最新のWindows Media Playerを入手してください。

つづく

パソコンに接続する/取り外す（つづき）

■パソコンに接続する

1



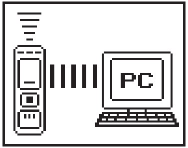
1. 本機の電源を切る
2. USB保護カバーを開ける
3. 専用USB接続ケーブル（付属）を使用して
   パソコンのUSB端子に接続する

本書の説明で使用する画面はWindows XP / Windows Media Player 10となります。

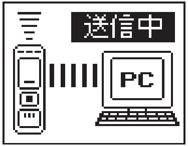
※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客様のパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。

■PC接続中の液晶パネルの表示

接続時



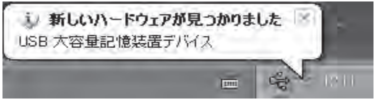
通信時



上の画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

- バスパワー型USBハブ、またはUSB延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に電池がなくても動作します。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USB端子付近を持って抜き差ししてください。

■初めて接続した場合



上図のようなメッセージが複数回表示されます。

- 消えるまでは本機を取り外さないでください。
- 初めて接続したときにパソコンに何も表示されない場合は、認識されているか確認してください。（☞95ページ）

2

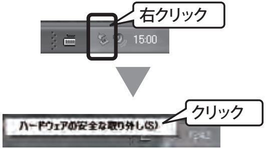


Windows XPまたはWindows Vistaをお使いの場合のみ確認画面が表示されます。実行する動作を選んでください。

- この例では[何もしない][常に選択した動作を行う。]を選んでいます。

■パソコンから取り外す

1



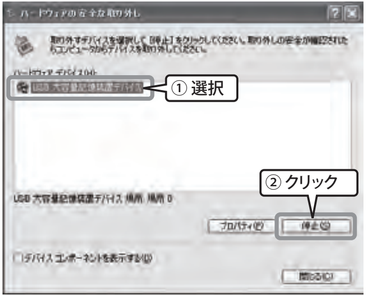
[タスクトレイ]のアイコンを右クリックし、[ハードウェアの安全な取り外し]をクリックする

- [タスクトレイ]アイコンが表示されない場合、Windowsのヘルプを参照ください。

パソコン

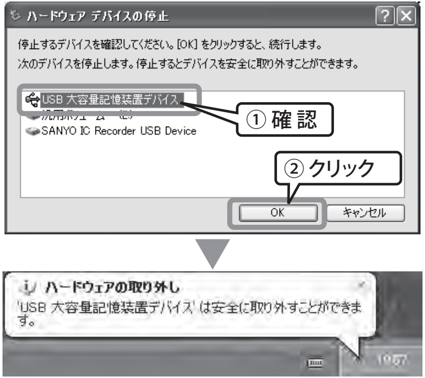
パソコンに接続する/取り外す（つづき）

2



[USB大容量記憶装置デバイス]を選び、[停止]をクリックする

3



停止デバイスを確認し、[OK]をクリックする

4 本機をパソコンのUSB端子から取り外す

本機のフォルダ構成について

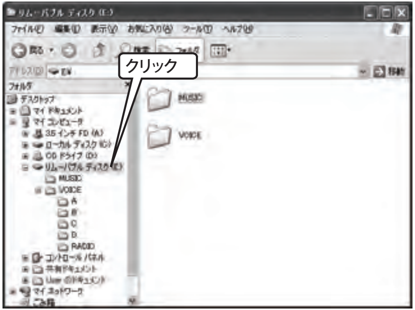
1 本機をパソコンのUSB端子に接続してください。

2



エクスプローラを起動する

3



[リムーバブルディスク]をクリックする

⇨本機のフォルダが表示されます。

- リムーバブルディスクが表示されない場合
  ☞100、101ページ

メモ
- 複数のリムーバブルディスクが表示されてどちらかわからない場合、接続時に新たに表示されるものが本機であることを表します。再接続して確認してください。

つづく

本機のフォルダ構成について（つづき）

■VOICE

本機で録音した音声ファイル（MP3形式）を保存しているフォルダ。さらにA～DとRADIOの5フォルダに分かれています。

- 録音されたファイルがA～DとRADIOのそれぞれのフォルダに入っています。
  "IC_A_XXX_YYY.MP3"といったファイル名になります。（Aフォルダの場合、XXX：ファイル番号、YYY：録音日時）
- ファイルを違うフォルダ（たとえばAフォルダ内のファイルをBフォルダへ）に移動しないでください。再生できなくなります。
- パソコンでファイル名を変更するとVOICEに戻しても再生できなくなりますが、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。

■MUSIC

音楽ファイルなどパソコンから転送するファイルを保存するフォルダ。

- 転送できるファイルはMP3形式または、WMA形式のみです。ファイル名は問いません。
- ファイルを追加すると再生順が変わる場合があります。
- このフォルダの下の階層にお好みのフォルダを作成し、アルバムや歌手ごとにファイルを入れることができます。☞35ページ

- 内蔵メモリのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。☞54ページ

録音した音声ファイルを保存する

1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

「パソコンに接続する」☞74ページ

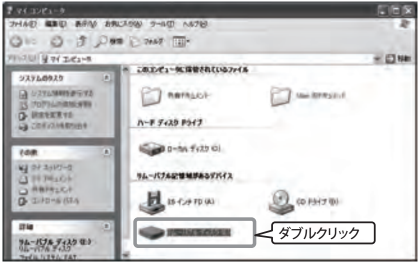
2



マイ コンピュータを開く

［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックします。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックします。

3



リムーバブルディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブルディスク］をダブルクリックします。

つづく

録音した音声ファイルを保存する（つづき）

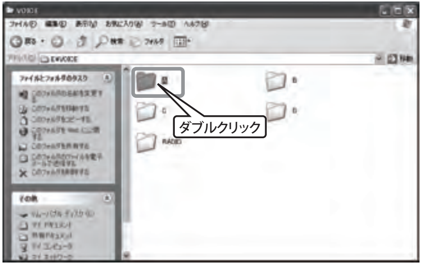
4



VOICEフォルダを開く

［リムーバブルディスク］内のVOICEをダブルクリックします。

5

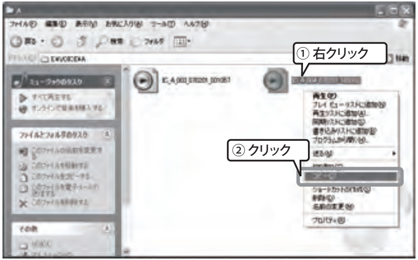


保存したいファイルの入っているフォルダを開く（A～DまたはRADIO）

［VOICE］内のいずれかのフォルダをダブルクリックします。

- 上図はAフォルダを選ぶ例です。

6



保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする

- パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は[切り取り]を選んでください。

7



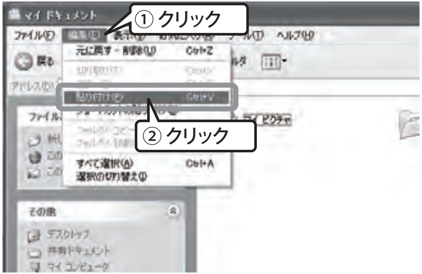
保存先のフォルダを開く

- この例では[マイドキュメント]に保存しています。

つづく

録音した音声ファイルを保存する（つづき）

8





[編集]をクリックし、メニューから[貼り付け]をクリックする

⇨同名ファイルが作成されたら保存完了です。

9

本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞75ページ

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする

（画面例はWindows Media Player 10です）

本機で録音した音声ファイルをWindows Media PlayerでCD-R/RWにコピーすることができます。

- 本機の内蔵メモリ内に保存されたファイルを直接CD-R/RWにコピーすると、処理上の負担が増加するなど、予期せぬエラーの原因となります。ファイルをCD-R/RWにコピーするときは、いったんパソコンに保存してからこの作業をおこなってください。☞79ページ
- CD-R/RWにコピー中は、他の操作をしないでください。

以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイドキュメント]の[マイミュージック]に保存した状態で説明しています。

※OSのバージョンやメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。（説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 10となります。）

※Windows Media Playerのバージョンを確認してください。（☞73ページ）

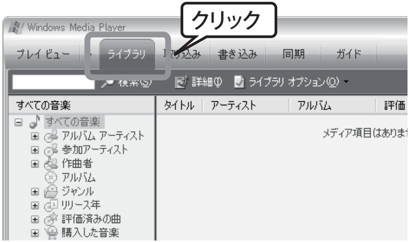
※その他のバージョンのWindows Media Playerをお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]を選択して、Windows Media Playerを起動します。

2 空のCD-R/RWをパソコンのCD-R/RWドライブに挿入する

3



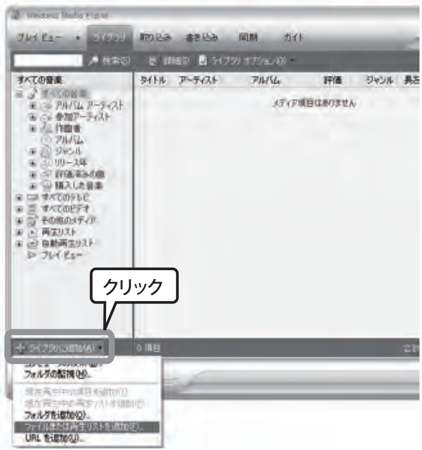
[ライブラリ]をクリックする

パソコン

つづく

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする（つづき）

4



[ライブラリに追加]をクリックする

画面左下にある[ライブラリに追加]ボタンをクリックします。

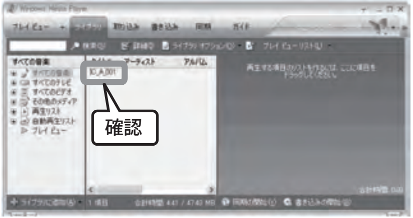
5



追加したい音声ファイルを選ぶ

ライブラリに追加したい音声ファイルを選択して、[開く]をクリックします。

6



選択した音声ファイルを確認する

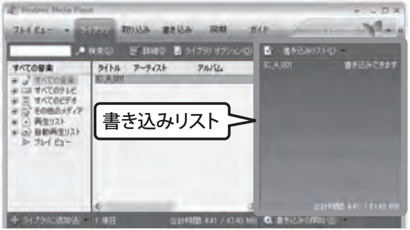
選択した音声ファイルがライブラリに表示されるので、内容を確認します。

7



書き込みリストを作成する

追加した音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[追加]-[書き込みリスト]をクリックします。



書き込みリストが作成されます。

8



CD形式を選択する

画面右下にある[書き込み開始]ボタン横の▼をクリックし、[オーディオCD]または[データCD]をクリックします。

メモ

- オーディオCD：CD-DA形式に変換してCD-R/RWにコピーします。CD-R対応のラジカセやコンポなどで再生できます。
- データCD：本機で録音した形式（MP3）のままCD-R/RWにコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

つづく

音声ファイルをCD-R/RWにコピーする（つづき）

オーディオCDを選択してCD-R/RWにコピーする場合、CDの容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
- 650MB…74分
- 700MB…80分

9



書き込みを開始する

画面右下にある[書き込み開始]ボタンをクリックします。

10





追加した音声ファイルがすべて[完了]と表示されたら、コピー終了です。

音楽ファイルを作成する（CDリッピング）

音楽CDから本機で再生可能な音楽ファイル（WMAまたはMP3）を作成する操作です。

> CDから音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

ここでは、Microsoft Windows Media Player 10を使って音楽CDの曲をWMA（またはMP3）形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。
操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。（説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 10となります。）

※Windows Media Playerのバージョンを確認してください。（☞73ページ）

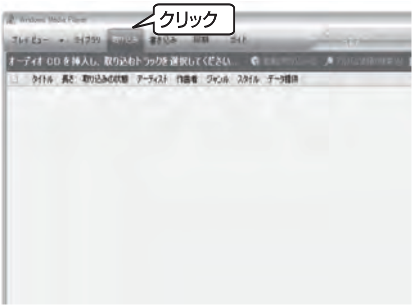
※その他のバージョンのWindows Media Playerをお使いの場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

●Windows Media Playerの入手方法の詳細はMicrosoft社のホームーページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

1 Windows Media Playerを起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Playerを起動します。

2



［取り込み］をクリックする

つづく

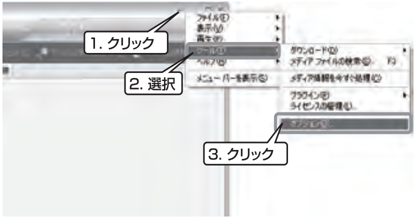
パソコン

音楽ファイルを作成する（CDリッピング）（つづき）

3 音楽CDをパソコンの光学ドライブ（CD/DVD）に挿入する

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は［アルバム情報の検索］をクリックしてください。
  インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

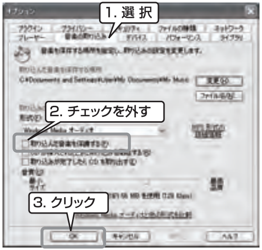
4



オプションを開く

Windows Media Playerの画面右上にある ▼ ボタンをクリックし、表示されたメニューから［ツール］－［オプション］をクリックし、オプション画面を表示させます。

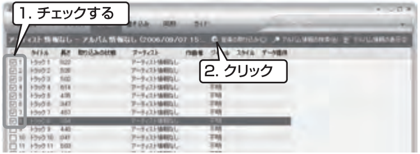
5



［音楽の取り込み］タブより、［取り込んだ音楽を保護する］のチェックを外す

チェックを外した後、［OK］をクリックしてください。

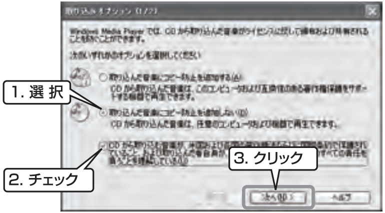
6

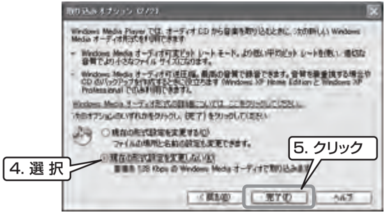


取り込みを開始する

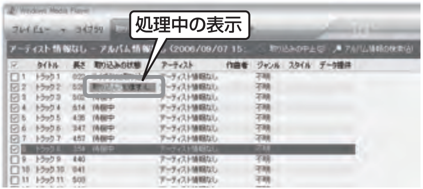
パソコンに取り込みたい曲をチェックして、［音楽の取り込み］をクリックします。

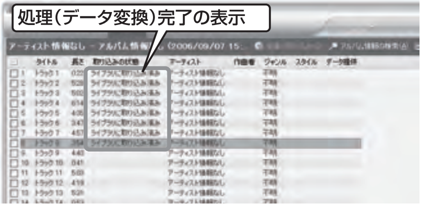
※下記のような画面を表示した場合は、画面通りチェックをつけて[完了]をクリックしてください。





7





選択した曲がすべて[ライブラリに取り込み済み]と表示されたら、CDの内容がWMA（またはMP3）形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する

- 転送方法の詳細は、http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.htmlをご覧ください。
- MP3・WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- 本機で再生・転送できるフォルダは、MUSICフォルダの下2階層までです。

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用してWMA（またはMP3）形式の音楽ファイルを本体に転送する方法について説明します。

※OSのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。
（説明で使用する画面はWindows XPとなります。）
その他のバージョンについては、当社ホームページをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

「パソコンに接続する」☞74ページ

2

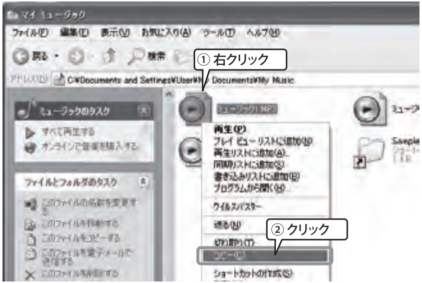


マイミュージックを開く

Windows Media Playerを使用して取り込んだ音楽ファイルは、初期設定では［マイ ドキュメント］内の［マイ ミュージック］に保存されています。

- Windows Media Playerで取り込んだ音楽ファイルの保存先は、Windows Media Playerを起動して、［ツール］－［オプション］－［音楽の取り込み］－［取り込んだ音楽を保存する場所］で確認できます。

3



転送したい音楽ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから[コピー]をクリックする

- 本機に転送するとともにそのファイルをパソコンから消去する場合は、[切り取り]を選んでください。

4



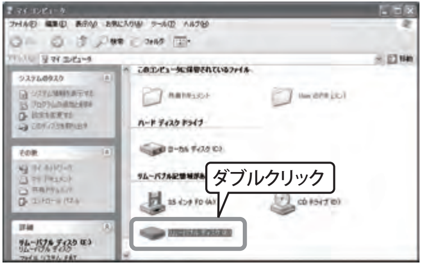
マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから[マイ コンピュータ]をクリックします。または、デスクトップ上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックします。

つづく

エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する（つづき）

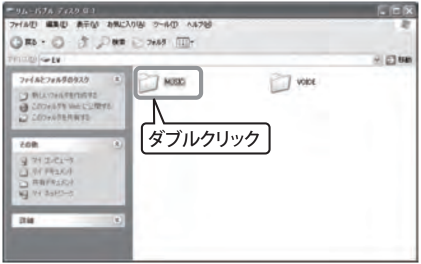
5



リムーバブルディスクを開く

［マイ コンピュータ］内の［リムーバブルディスク］をダブルクリックします。

6

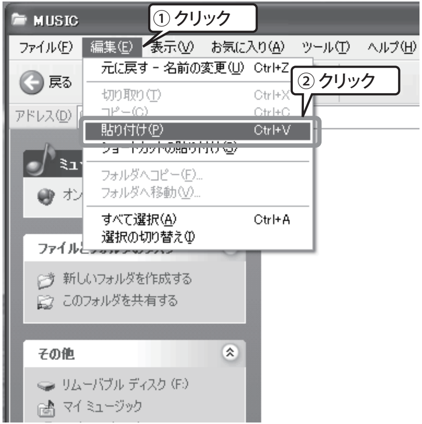


MUSICフォルダを開く

［リムーバブルディスク］内のMUSICフォルダをダブルクリックします。

再生したい音楽ファイルは、必ずリムーバブルディスクのMUSICフォルダ内に入れてください。VOICEに入れても再生できません。

7



音楽ファイルを転送する

[編集]をクリックして表示されるメニューから[貼り付け]を選択してクリックします。

コピーが開始され、同じ名前の音楽ファイルが作成されたら転送完了です。

転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。

<コピー中の表示>



転送するフォルダ・ファイルに関しては、「本機のフォルダ構成について」を参照してください。

☞77ページ

8 本機をパソコンから取り外す

「パソコンから取り外す」☞75ページ

お好きな曲順で再生するには

■フォルダの作成

本機では、MUSICフォルダ以下2階層までフォルダを作成できます。「フォルダの階層について」☞35ページ

アーティスト別にフォルダを作成したり、アルバムの各曲を1つのフォルダ内に転送したりすることによって、アルバムやアーティストごとに再生することができます。

- 再生できるのはMUSICフォルダの2つ下の階層のフォルダまでです。

再生方法は☞34ページ

(画面例はWindows XPです)

本機の認識状態を確認する

■Windows Vista

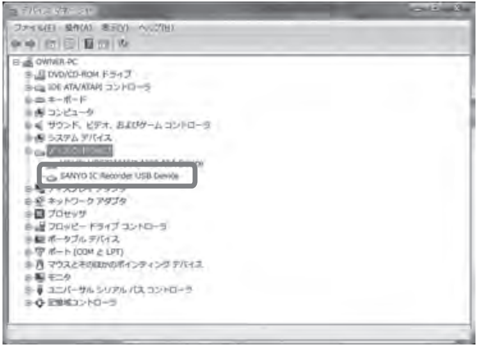
本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

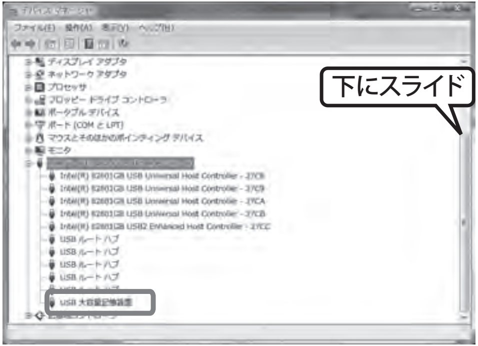
[スタート]メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システム]画面を開きます。

[デバイスマネージャ]をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から[続行]を選択して[デバイスマネージャ]画面を開きます。

[ディスクドライブ]及び[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows Vista＞





パソコン

つづく

本機の認識状態を確認する（つづき）

■Windows XP、Windows 2000

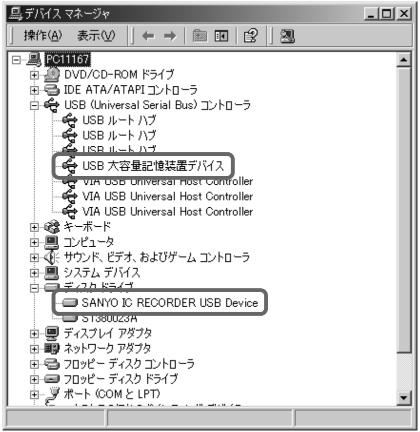
本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

[スタート]メニュー（またはデスクトップ上）の[マイコンピュータ]アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システムのプロパティ]画面を開きます。
[ハードウェア]タブ内の[デバイスマネージャ]をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ]および[USB (Universal Seial Bus)コントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows XP＞



＜Windows 2000＞



■Windows Me

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[システムのプロパティ]画面を開きます。

[デバイスマネージャ]タブをクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ]および[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

＜Windows Me＞





つづく

本機の認識状態を確認する（つづき）

■デバイスマネージャで正しく表示されなかったら?

以下の手順で確認を行ってください。

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSB端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別のUSB端子に本機を接続してください。
4. バスパワー型USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンのUSB端子に直接付属の専用USB接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

- 接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

故障かな?と思う前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または新しい電池に換えてください。 10ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 13ページ「誤動作を防止する(ホールド)」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 75ページ「パソコンから取り外す」参照

カレンダが正しく表示されない

解決方法	日時を再設定してください。 14ページ「カレンダ(日時)を設定する」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 31ページ「音量調節」参照

VOICE(A・B・C・D・R)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコンでファイル名を変更するとVOICEに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC(M)フォルダに転送すると再生できるようになります。

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護されているファイルは再生できません。
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

故障かな?と思う前に(つづき)

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC(M)フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 90ページ「エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する」参照

原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー(MP3・WMA変換)ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

PC接続時に、本体に表示がでない

解決方法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本体に表示がでない場合や、パソコン側で本体が認識されない場合があります。その時は本体をパソコンより抜いて再度接続してください。

PC接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSB端子に最後まで正しく差し込まれているか、またUSBケーブル使用時は本機側のUSB端子が正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 74ページ「パソコンに接続する」参照

原　　因	Windows 98, 98SEのPC及びMACに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE及びMACはサポートしていません。

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型(電源アダプター付)のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 74ページ「パソコンに接続する」参照

PC接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 本機に対応するパソコン以外に接続されても動作保証いたしません。 72ページ「動作環境」参照

ラジオの雑音が多くききづらい

原　　因	近くに雑音源（テレビやモーター、電気器具など）がある
解決方法	設置場所を変えてみてください。

原　　因	周波数がずれている
解決方法	周波数を調節してください。

FM放送が受信できない

原　　因	付属ヘッドホンが差し込まれていない
解決方法	本機のヘッドホン端子に付属のステレオヘッドホンを差し込んでください

録音するとノイズが聞こえる

原　　因	録音モードやマイク感度が適切でない
解決方法	録音モードやマイク感度を切り換えてためし録音しながら、最適な録音環境に設定してください。 24ページ「録音モード（音質）を変える」参照 26ページ「マイク感度を変える」参照

解決方法	内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去前に必ず内蔵メモリ内の録音内容を確認してください。 54ページ「すべてのファイルを消去する（フォーマット）」参照

予約録音のチェックボックスにチェックが入っているのに、録音できていなかった

原　　因	予約録音の設定時間が重複した場合、後から開始する予約録音は自動的にキャンセルされます。（61ページ参照）

よくあるご質問（Q&A）

Q：マンガン電池や充電池は使えますか？

A：マンガン電池、ニカド電池は使用可能時間が著しく短くなったり、録音途中に電池切れになったりする場合があり、おすすめできません。アルカリ乾電池のご使用をおすすめします。当社の充電池「エネループ（eneloop）」も使用できますが、アルカリ乾電池に対して持続時間は約70%となります。オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。

Q：再生音にガサガサ雑音が入るのはなぜ？

A：録音中に本体や本体を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本体を動かさないようにしてください。

Q：取扱説明書に記載されている録音可能時間は、1つのファイルごとの録音可能時間ですか？

A：いいえ、ちがいます。各録音モードの録音可能時間とは、メモリ内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1ファイルでメモリが一杯になるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更してもそれ以上は録音できません。

Q：タイマー予約録音したラジオ放送を再生すると雑音が多くて肝心の放送がよく聞こえません

A：録音した放送局がうまく受信されていなかったようです。ヘッドホンを束ねたり本機を動かしたりすると、本機のラジオ受信状態が悪くなります ☞36ページ。タイマー予約録音の設定前には、必ず録音する放送局がよく聞こえる状態かどうかを確認し、その状態のまま、録音が終了するまでできるだけ本機を動かさないでください。

Q：ラジオ放送を受信中、録音ボタンを押すとスピーカーから聞こえなくなった

A：本機では、ラジオを録音すると自動的にスピーカー出力からヘッドホン出力に切り換わります。ラジオ録音中はヘッドホンでお聞きください。 ☞67ページ

その他のよくあるご質問ならびにソフトウエアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ http://www.sanyo-audio.com/support/icr/ にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ	： 1GB
録音時間	： 約17時間30分（XHQ時） 約35時間30分（HQ時） 約71時間（SP時） 約143時間（LP時）
対応OS	： Windows Vista/XP/2000/Me
録再周波数特性	： 40～2,500Hz（内蔵マイクLP時） 40～2,500Hz（内蔵マイクSP時） 40～7,000Hz（内蔵マイクHQ時） 40～14,000Hz（内蔵マイクXHQ時）
録音フォーマット	： MP3
再生フォーマット	： MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）・WMA
再生周波数	： 20～20,000Hz
サンプリング周波数	： 16～44.1kHz
再生対応ビットレート※1	： 16～320kbps（MP3） 32～192kbps（WMA）
S/N比	： 82dB
ラジオ受信周波数 AM	： 522～1611KHz
ラジオ受信周波数 FM	： 76～90MHz

※1 ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

入・出力端子　　　　：USB/ステレオヘッドホン3.5φ
ミニ/ステレオマイク（ライン入力兼用）3.5φミニ

動作温度　　　　：＋5℃～＋35℃

定格出力（ヘッドホン）　：10mW＋10mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)

電源　　　　：単4アルカリ乾電池×2本

電池持続時間（JEITA）　：

連続録音時間　　：約13時間（アルカリ乾電池）
(録音モード：SP、録音LED//バックライト：OFF、録音モニター：なし)

ラジオ連続録音時間(FM受信時)：
(録音モード：ＨＱ）　約9時間（アルカリ乾電池）
(AM受信時)：
約11時間（アルカリ乾電池）
(ヘッドホン出力、録音LED//バックライト：OFF)

連続再生時間　　：約19時間（アルカリ乾電池）
(ヘッドホン再生時、バックライト：OFF)

連続再生時間　　：約11時間（アルカリ乾電池）
(スピーカー再生時、バックライト：OFF)

ラジオ連続受信時間(FM受信時)：約24時間

ラジオ連続受信時間(AM受信時)：約30時間

● 連続録音再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

最大外形寸法　：幅42×高さ109×奥行き19 (mm)
質量　　　　　：約82g（電池含む）
付属品　　　　：インナーイヤー型ステレオ

ヘッドホン	(1)
タイピン型ステレオ外部マイク	(1)
専用USB接続ケーブル	(1)
単4アルカリ乾電池	(2)
本書（保証書付）	(1)
かんたん操作ガイド	(1)

※内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。
※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の99ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ラジオ付デジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口：家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口：修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間　9:00～18:30 (365日)
☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は
大阪 (06)6994-9570 におかけください。

※郵便・FAXでご相談される場合
三洋電機(株)　お客さまセンター
FAX　(06)6994-9510
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]
　　　　　土曜・日曜・祝日・当社休日　[9:00～17:30]

東コールセンター

地区	電話番号
関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

西コールセンター

地区	電話番号
近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪 (06)4250-8400
中部地区	050-3116-2666
中国地区	050-3116-2777
九州地区	050-3116-2888

地区	電話番号
沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日9:00～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　＜三洋電機サービス株式会社＞

受付時間　月曜日～金曜日9:00～17:30（日曜、祝日を除く）
ご相談は、各地区サービスセンターで承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくはホームページでご確認ください。http://www.sanyo.co.jp

つづく

お客さまご相談窓口（つづき）

お客さまご相談窓口における お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

＜利用目的＞

● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

北海道地区			
札幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
函館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
旭川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
北見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
釧路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6

東北地区			
仙台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
青森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市上野字山辺29-5
盛岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-12-1
山形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
秋田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
郡山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120

関　東・甲信越　地　区

さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
宇 都 宮	(028) 614-3883	〒321-0111	栃木県宇都宮市川田町字免ノ内765-5
つ く ば	(0298) 64-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
水　　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
伊 勢 崎	(0270) 40-7611	〒372-0003	群馬県伊勢崎市華蔵寺町87-1
新　　潟	(025) 285-2431	〒950-0942	新潟県新潟市中央区小張木2-16-43
城　　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10
城　　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
武 蔵 野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
横　　浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
相 模 原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
千　　葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
甲　　府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23

中　部　地　区

名 古 屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岐　　阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　　松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市本郷町123
松　　本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
金　　沢	(076) 292-2060	〒921-8005	石川県金沢市間明町2-100
富　　山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
福　　井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2

つづく

お客さまご相談窓口（つづき）

近 畿 地 区

地区	電話	郵便番号	住所
大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	大阪府守口市竹町4-13
大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
阪和	(072)221-8571	〒590-0026	大阪府堺市堺区向陵西町2-1-24
京都	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
奈良	(0744)22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
滋賀	(077)514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
和歌山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
神戸	(078)641-1251	〒653-0038	兵庫県神戸市長田区若松町2-1-9　ピアザビル3F
阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫路	(0792)82-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡路	(0799)42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1

中 国 地 区

地区	電話	郵便番号	住所
広島	(082)293-6511	〒733-0012	広島県広島市西区中広町2-1-2
福山	(084)954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
岡山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
鳥取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松江	(0852)23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
山口	(083)973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6

四 国 地 区

地区	電話	郵便番号	住所
松山	(089)979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町274
高松	(087)843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
高知	(088)831-2570	〒780-8007	高知県高知市仲田町6-12
徳島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

九　州　地　区

福　　岡	(092) 928-3414	〒818-8534	福岡県筑紫野市紫6-1-1
北　九　州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
長　　崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
熊　　本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大　　分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6組
宮　　崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿　児　島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

沖　　縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部

(010407J)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

三洋電機株式会社

パーソナルモバイルグループ　DIカンパニー　国内販売担当

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

ユーザーサポートホームページアドレス　http://www.sanyo-audio.com/support/index.html

(JP0)　1CN6P1P0019-A